

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
4 障害者（児）・その家族 が集う場の開設・拡充・ 情報提供 （重点取組項目）	<p>現在、地区部会で行っている障がい者施設への慰問訪問、施設行事への参加等の中で、障がい者（児）・その家族の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介する。</p> <p>また、障がい者（児）を介護する家族が交流できる場や地域住民と交流する機会を設け、その家族を支援する体制づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催</li> <li>・障がい者施設の見学、慰問の実施</li> <li>・障がい者施設の行事手伝い及び参加</li> <li>・障がい者施設への慰問品の贈呈</li> </ul>	<p>6/22 打合せ（12名参加） 年度事業計画の討議、確認</p> <p>7/15 打合せ（14名参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者施設の夏祭り行事のお手伝い及び参加について</li> <li>・障がい者施設の見学、慰問の実施について</li> <li>・障がい者、障がい者施設等に関する学習会の実施について</li> <li>・今年度の慰問品贈呈先、慰問品について</li> </ul> <p>8/3、8/4 夏祭りお手伝い（両日とも7名参加）</p> <p>9/22 打合せ、学習会（13名参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りお手伝いの報告</li> <li>・施設見学先の施設名、日時の決定</li> <li>・慰問品贈呈先について</li> <li>・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催</li> </ul> <p>10/3 障がい者施設訪問、施設状況確認 訪問者（委員長、3副委員長）</p> <p>11/28 障がい者施設の見学、慰問の実施 （11名参加）</p> <p>2/6 慰問品贈呈（12名参加） 2グループに分けて4施設を訪問</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催</li> <li>・障がい者施設の見学、慰問の実施</li> <li>・障がい者施設の行事手伝い及び参加</li> <li>・障がい者施設への慰問品の贈呈</li> </ul>	障がい者（児）が「集う場の開設」については、緑区地域福祉計画に沿った計画であり、今後の課題とする。
16 見守り活動の推進 （重点取組項目）	令和4年度現在、当地区部会地域内における見守り活動団体は3団体（内1団体は休止中）であるが、これを毎年1団体以上増やしていく。	<p>高齢者福祉委員会を4回開催 （5年6月・9月・12月・6年3月）</p> <p>今年度、見守り活動団体の新設はなかった。</p>	×	見守り活動未実施の22町内自治会へ活動の必要性を呼びかけ、新たな地域での活動を推進していく。	

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 誉田（第12）地区町内自治連絡協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
1. 情報の収集と共有化  誉田地区町内自治連協理事会と正副会長会議を通して課題に取り組む	毎月第2土曜日に、25の自治町内会長等が集まり町内自治会は何をすべきか、また誉田地区代表（理事）を中心とした会議で緑区や市に対する要望等出していく。 学校からの要望（行事・運動会・式典・支援等） また各町内自治会として組長会議で意見交換や共有化。	誉田公民館と誉田二丁目自治会館にて通常は理事会（13回）、25の町内自治会正副会長会議（6回）を開き、防犯や福祉・道路を協議  （振り返り（感想）） 会合は年度初めの予定通り開催できた。避難所運営4か所で訓練等も実施できた。学校の協力要請にも答えることができた。	◎	今後の活動も定例化したい。 役員数は12名体制で十分であるが、女性の参加が望まれる（現在1名）。新しく地区連として美化運動に取り組みたい。 年に2回は学校と別にごみ拾い等。 防犯パトロールの様に各町内会単位の10名以内でたばこの吸い殻拾い等。	どんな活動をするにしても参加者が決まってしまう。いかに各町内自治会の会員が参加してくれるかで有り、新しい住宅ができて非協力的である。
2. 子ども達の集う場の提供・情報提供、地域と学校との交流  開設・拡充に対し町内自治会員や保護者のかかわり方	子ども達に対し、また子ども会を通して遊び（昔遊び・物づくり）や考える力が身につくための指導力をつけるよう支える。	学校での放課後教室には数人の方々が協力いただきスムーズに運営できた。子ども会も予定していた運動大会や遊び場の提供もできた。  （振り返り（感想）） 学校という場がないのは少し淋しい。自治会館や公民館等も借りることができたら。また、いつでも使える場所の提供は難しい。	○	誉田小は令和8年度、東小は12年度から放課後教室がアフタースクールに移行する。7年度10月頃から準備に入るので一日の流れを研究し、長時間（14:30～19:00）ボランティア（自治会員等）の募集を早い時期から進めたい。 また子どもの居場所作りにも高田町自治会館だけでなく広げたい。NPO法人や社会福祉協議会にも要請する。	アフタースクールは運営事業所が中心になると思うので、町内自治会員・ボランティア等との協力が上手くできるかが課題。 子ども会は現在、誉田子ども会を中心に高田や誉田町にある子ども会と協力しあえるか、町内自治会協議会として援助していきたい。
3. 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	6年度までは慰問等のみであったが、本年度は祭り等にも参加してもらうよう積極的に働きかけていきたい。（但し誉田二丁目神社の祭り等に露店等出した）	コロナの影響から露店等は止めており今後改めて一丁目や二丁目の神社祭りや夏の盆踊りにも参加できるようにしたい。  （振り返理（感想）） 連絡協議会役員が少し前に出て取り組むように持っていくべきであった。次年度からは協議会もできるため。	△	千葉市でも障害福祉サービスにおける地域連絡会議を積極的に推進されるので誉田地区町内自治会連絡協議会としても前向きにやっていく。 各施設からの要望があってから動くのではなく自ら動いていく。理事会でも討議。施設の行事にも要望があれば社協誉田と協力し合っていく。	障がい者施設との地域連絡会議にいかに取り組むか、また若い人たちに協力してもらえるかも課題である。
9. 町内自治会の活性化  緑区でも町内自治会への加入促進に力を入れパンフレットができた活用を！	誉田地区連として特に加入促進としての動きはしていなかった。 また新しく建売等の住宅ができて大きな町会に加入希望も電気代等の負担が大きく加入されず。単独での設立進めるも設立されず。 緑区の加入促進パンフレットの活用。	町会自治会への加入促進の取り組みは皆無であった。今後町内自治会への加入促進のためパンフレットを未加入マンション等にポスティング等を行う。  （振り返り（感想）） 誉田町内自治会として何の働きかけもしなかった。今後はパンフレットの配布により働きかけたい。	×	大きな町内自治会長に対し協力を願う。 建売住宅や町内会敷地のアパート等にパンフレットの配布。月に一度の会議で共有化して、どこの町会長が担当するか、加入促進に力を入れる。 行事等への呼びかけ。 一年ごとに替わる町内自治会長、これを最低2年は続けてもらうよう指導。	高齢化と共に町内自治会を持ち回りの役員が回ってくると辞める町会員に対しどう引き止められるか話し合っていきたい。 高齢者に対し敬老会だけでなく何か考えたい。 また若い人も積極的に参加できるようにする。特に避難訓練。

# 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 第506地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	<p><b>夏休みラジオ体操の実施</b> 夏休みの始めと終わりの数日間、民生委員の主催でラジオ体操を実施する。</p> <p><b>誉田中「地域ふれあいタイム」への参加</b></p> <p><b>JINKENの作成・寄贈</b> JINKEN（犬のぬいぐるみ）を作成して、誉田小、誉田東小の卒業生に送る。</p>	<p>誉田団地のみ実施。 7月29日、30日、31日 8月26日、27日、28日</p> <p>誉田中「地域ふれあいタイム」 10月2日：印鑑作り・JINKEN（犬のぬいぐるみ）作り</p> <p>1～2月、JINKENぬいぐるみ作成。 3月14日：誉田小、3月6日：誉田東小の6年生に届けた。人権に関する講話をした。 （感想）教職員にも子どもたちにも活動への意識が定着してきた。</p>	○	<p>誉田団地のみ実施。 7月下旬 8月下旬 参加対象：大人と子ども</p> <p>誉田中「地域ふれあいタイム」 10月ごろ：印鑑作り・JINKEN（犬のぬいぐるみ）作り</p> <p>1～2月、JINKENぬいぐるみ作成。 3月、誉田小、誉田東小の6年生に届ける。併せて、人権に関する講話をする。</p>	<p>子どもの参加者増加</p> <p>JINKENぬいぐるみは、学校の理解と評価を得ているので継続</p>
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	<p><b>ふれあいカフェの開催</b> 月1回（第3月曜日） 誉田団地自治会館。</p>	<p>4/15、5/20、6/3、7/18、 8/5、9/2、10/7、11/18、 12/2、1/6、2/3、3/3 誉田団地自治会館</p>	○	<p>毎月第3月曜日 誉田自治会館 コロナ対策を心がけながらスタッフと協力して実施する。</p>	
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	<p><b>子育てサロンの開催</b> 子育て中の親との情報交換を図る。 月1回 誉田町一丁目公会堂 誉田町二丁目第一自治会館</p> <p><b>子どもの居場所づくり</b> 夏休み中の子どもの安全安心な居場所を提供する。</p>	<p>5/9、6/7、7/11、8/8、9/13、10/10、 11/7、12/13、1/9、2/6、3/7 誉田町一丁目公会堂、 誉田町二丁目第一自治会館、 たかだの森ニュータウン自治会館</p>	○	<p>5/9、6/12、7/11、9/12、10/9、11/7、 12/11、1/9、2/12、3/13 誉田公民館、 誉田町二丁目第一自治会館 たかだの森ニュータウン自治会館</p> <p>夏休みの最初と最後の1週間 誉田公民館、誉田町二丁目第一自治会館</p>	<p>子育て中の親への声かけ等の周知方法の工夫</p>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
16 見守り活動の推進	登下校時の見守り  独居高齢者の見守り	登校時の児童の見守り活動を実施した。 菅田団地、菅田一丁目  高齢者実態調査をもとにコロナ感染対策をしながら独居高齢者の見守り活動を継続した。	○	登校時の児童の見守り活動を実施した。 菅田団地、菅田一丁目  高齢者実態調査をもとにコロナ感染対策をしながら独居高齢者の見守り活動を継続した。	地域住民、保護者の参加協力  必要性がありながらも福祉サービスの受け入れに応じない独居高齢者への対応
18 地域の課題解決に向けた連携	菅田あんしんネットワーク会議への参加  地域の課題解決に向け、上記会議に参加し、関係機関と情報を共有し、意見交換をしながら連携を図る。	菅田あんしんネットワーク会議  緑いきいきプラザを会場に4月、6月、8月、10月、12月、2月の第3金曜日に開催した会議に会長、副会長の3名が参加した。	○	菅田あんしんネットワーク会議  緑いきいきプラザを会場に偶数月の第3金曜日開催の会議に会長・副会長の3名が参加する。	貴重な情報交換・共有の場として継続

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 第507地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
3 高齢者が集う場の開設、 拡充、情報提供 （重点取組項目）	施設での食事会開催協力 ・ 社協と連携し、高齢者施設に地域住民を 招いて食事会を開催する「わくわく食事会」の実施に協力する。  ・ いきいきサロンへの協力	・ ふれあい食事サービス事業が無くなり、代替りの「わくわく食事会」開設も出来なかった  ・ 507地区民児協内のいきいきサロンは昨年度7地区で延べ82回開催され、延べ参加人数720名、参加ボランティア246名。  ・ 誉田ニュータウンでのいきいきサロン（笑みの会）が R6年度新規開設で動き出した。  ・ コロナ前まで開催していた歌声サロンも R7年度再開で動き出した。  （振り返り（感想）） 新規のサロンも動き出しているが、従来の サロンでは新規参加者が増えず参加者が頭打ちになってきた。	×  ○  ○  ○	・ いきいきサロンへの参加人数増加を目指す  ・ 安定した定期開催に繋げていく	現在の参加者も足腰が弱くなって、自力参加が難しくなっている。
5 子育て中の親や子ども も集う場の開設・拡充	・ 転入してきた子育て世帯への子育てサロン紹介を模索する。  ・ 夏休み「こどもの居場所作り」	・ 507地区民児協の地区内では、たかだの森ニュータウンでの子育てサロンも変動はあるものの参加者も増えている傾向にある。また、第一自治会館でのサロンも小人数ではあるが着実に増えてきた。  ・ 初の試みとして第一自治会館と第二自治会館で開催したが、第一自治会館の参加者は9回開催で延べ36人、第二自治会館は7回開催で延べ92名であった	○  ○	・ 子育てサロン参加者はがび悩んでいる地域も有るため、学校近くに統合して継続していく。	子育て中の親への声かけ等周知方法を工夫して参加者を増やしていく。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動については、感染症拡大防止に留意しながら継続していきたい。 (令和6年度も高齢者実態調査を実施)</li> <li>・社協誉田地区部会の高齢者福祉委員会町内会の見守り隊と連携して見守りの体制づくりに協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会主体の見守り活動も、再度の募集にも拘らず新規の見守り対象者が増えない。</li> <li>・高齢者実態調査の結果は、着実に高齢化が進んでいる傾向にある。</li> </ul> <p>(振り返り(感想)) 元気な高齢者も散歩に出かけて、買物に出かけたときに道路の段差に躓いて転倒する事例が増えてきた気がする。</p>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者実態調査の結果は、着実に高齢化が進んでいる傾向にあり、特に独居で心配な高齢者の見守りを継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の民生委員も高齢者と顔馴染みになりつつあり、普段の挨拶から心配事等を聞き出せるようにしていく。</li> </ul>
18 地域の課題解決に向けた連携	<b>地域ケア会議への参加</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議(誉田あんしんネットワーク会議)に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんケアセンター誉田主催で偶数月に開催されるあんしんネットワーク会議に参加し、地域の課題解決に向け連携していく。</li> <li>・R7.2月の会議の場で報告された事案を、民生委員経由で町内会と共有できた。</li> </ul> <p>(振り返り(感想)) 地区内の新たな情報を得たり出来るので、有意義な会議と思います</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・偶数付き開催のあんしんネットワーク会議に507地区民児協から3人が参加して地域の課題解決に繋げていきたい。</li> </ul>	地域の問題を相談出来る貴重な機会なので、今後も継続して参加していく。

# 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 あんしんケアセンター誉田

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△ /×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
高齢者が集う場の開設・拡大・情報提供	高齢者が集う場の開設・拡大・情報提供	○サロンやシニアリーダー体操などの集まりの場に訪問し、現状確認や介護予防、消費者被害の周知などを行った（14回） ○あんしん誉田の広報紙「あんしんケアネット」を年4回発行（6月、9月、12月、3月）	◎	○年間計画を立てて最低年1回は、サロンやシニアリーダー体操などの集まる場に参加をし、状況の把握に努める。	○コロナ後、地域活動は再開してきたものの、代表者の高齢化などにより、再開が出来ていない集まりもある。民生委員や自治会などと協力をしながら、活動が行えるように一緒に検討していく。
老人クラブの活性化の活性化 健康作り支援	健康維持の支援活動	○介護予防グッズを利用した普及活動を、4箇所で開催  ○ほんだ貯筋倶楽部を毎月開催。9月以降場所を緑いきいきプラザに変更し、足の問題で人数は減少したが、今まで交流のなかった方同士の交流も生まれた。	◎	○R7年5月サロンにていきいき手帳配布、健康測定会等  6月サロンにてロッテに来て頂いて講話、健康測定会等  8月サロンにて講話、ラダーゲッター実施。  R8年1月サロンにて健康測定会	○介護予防グッズ購入をし、サロンなどで普及啓発を開催。また、測定会なども開催し、現状の把握と介護予防の普及啓発も行っていく。  ○ほんだ貯筋倶楽部も継続的に行い、介護予防に努めていく。また、新たな参加者が増えるように、啓発も行っていく。
助け合い活動の推進・外出 困難者への支援	移動販売等の情報提供、支援	○買い物支援については、場所の把握はしたが、新たに設置や紹介をするまでには至らなかった。	△		
地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議の開催 関係機関との情報共有	○あんしんネットワーク会議を隔月で開催。台風の影響で1度中止をした。 ○自立促進ケア会議2回、出張相談会を3回開催 ○1自治会で地域課題（ごみ捨て支援）についての地域ケア会議を開催。 ○千葉県精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連絡会の会議に参加（      回）	○	○あんしんネットワーク会議も隔月で開催継続。 ○出張相談会も年3回は開催予定。	地域課題についての個別地域ケア会議も開催できるように、促していく。

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 社会福祉法人常盤会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	ア 学校と施設の交流小委員会事業 イ 土気公民館で職場体験中の中学生とのオンライン交流	ア 小委員会での計画は今後？  イ R6年6月20日 土気公民館とデイサービスをオンラインでつなぎ、公民館に職場体験中の中学生3名（大椎中学生）とデイサービスの利用者との交流会を開催。中学生から職業観や人生観を尋ねられて、ご参加の高齢者には自身の過去を見つめなおす良い機会となった様子であった。生徒さん方は脳トレ体操も素早く覚え、ご高齢の方々の刺激となったことも印象的である。  ※ R6年6月7日 コロナ中に交流を中断していた鏡戸幼稚園の年中さんが、デイサービスを訪問してくれた。全員でマスクを着用、入館時もアルコールで手指消毒を完全実施し、見事なお遊戯を見せてくれ、大人たちをうならせて帰っていた。	○	ア 学校と施設の交流小委員会事業 1回/年 イ 鏡戸幼稚園さんとの交流 1回/年	ア 学校からタオルを頂戴して、利用者が雑巾に仕立てて納品する行事がおこなえないか。 イ 6月25日来園、高齢の施設利用者に歌と踊りを披露していただき、施設中が笑顔に包まれた。
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	ア わくわく食事会の開催 イ 土気地区部会ふれあい食事会への管理栄養士派遣	6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承  ア、イ 実施はかなわなかった。	×	計画なし	
18 地域の課題解決に向けた連携	ア 社会福祉人材や教育人材の育成に資するため、実習生を積極的に受け入れる。  イ 依頼に応じて当会に勤務する専門職を講師として派遣する。	義務教育教員免許志願者に対する介護等体験/2名 6/17～21、9/9～13に各1名  社会福祉士受験資格取得予定者への実習/1名 9/9～10/11	○	義務教育教員免許志願者に対する介護等体験/11名 6/16～12/5の間で、11名を予定  社会福祉士受験資格取得予定者への実習/1名 8/4～9/4  介護福祉士受験資格取得予定者への実習/3名 6月3日～3日	千葉、和洋女子、東邦、帝京平成、淑徳、国際武道、東京未来など各大学より11名  淑徳大学より男子学生1名  京葉介護福祉専門学校よりミャンマー人留学生3名
19 緊急時の食料、医薬品等の調達、供給体制づくり	BCPの仕組みづくり	引き続き東天生産技術研究所との連携を継続する。地震時のBCPに加え、出水時のBCPやパンデミック時のBCPなど、応用的に作成していきたかったが、業務多忙でなかなかはかどらず。	△	19 緊急時の食料、医薬品等の調達、供給体制づくり  BCPの仕組みづくりを、福祉的地域避難所とのかかわりに広げていきたい。強盗事件対応などの態勢づくりに取り組んでいきたい。	取り組みが片手間になりがちで、進捗が滞りがちである。



※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
1 情報の収集と共有化	・ 広報誌の発行	・ 広報誌の発行 年2回発行し地域情報を発信した。	◎	・ 広報誌の発行 年2回発行し地域情報を発信する。	・ 広報紙の内容の充実
3 高齢者が集う場の開 放・拡充・情報提供	・ いきいきサロンの実施	・ いきいきサロン 鎌取団地サロン（週1回） 鎌取スポーツサロン（週1回） 鎌取卓球サロン（週1回）	○	・ いきいきサロン 鎌取団地サロン（週1回） 鎌取スポーツサロン（週1回） 鎌取卓球サロン（週1回） 鎌取民謡サロン（月1回）	・ 他の町内・自治会も実施出来ないか検討 ・ サロンの宣伝方法の検討
4 障害者（児）が集う場所 の開設・拡充・情報提供	・ 障害者、障害者施設に関する学習会 の実施	・ 障害者に関する学習会を開催し、理 解を深める。 ・ 障害者施設を訪問し、障害者の理解 を深める。 （前期 ・ 訪問先選定） （後期 ・ 4箇所訪問）	×	・ 障害者に関する学習会を開催し、理解 を深める。 ・ 障害者施設を訪問し、障害者の理解を 深める。 （4箇所を訪問予定）	・ 障害者福祉との今後の関わり方 ・ 訪問先の確保
5 子育て中の親や子ども が集う場の開設・拡充	・ 子育てサロンの実施	・ 子育てサロン 保健福祉センターで（月1回）実施	○	・ 子育てサロン 保健福祉センター（月1回）	・ 継続した人員の確保 ・ 宣伝方法の検討
16 見守り活動の推進	・ 地区連協と連携した見守り活動の推 進	・ 訪問や外からのさりげない見守り活 動の実施 （鎌取、平山）	○	・ 訪問や外からのさりげない見守り活動 の実施 （鎌取、平山）	・ 対象高齢者の減少 ・ ボランティアの高齢化
20 ボランティアの確保	・ ボランティア活動に関する啓発活動	・ 町内会の回覧板でのボランティア募 集	△	・ 町内会の回覧板でのボランティア募集	・ 高齢化が進みボランティアの確保が 年々厳しくなる

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 平山地区町内自治会連絡協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（５～１０割）/ △：一部目標を達成した。（１～４割）/ ×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎/○/△/×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
２ 子ども達の集いの場の 提供・情報提供・地域と 学校との交流	平山小学校のセーフティウォッチャーを実施	毎週持ち回りで登下校時の見守りを実施。  （振り返り（感想）） 概ね達成	○	毎週持ち回りで登下校時の見守りを実施	セーフティウォッチャーの確保
６ 地域の行事への積極的 参加の呼びかけ、文化の 伝承 ８ 老人クラブの活性化 ９ 町内自治会の活性化	・シニアクラブ（自治会の老人会）に 地域行事への参加を呼び掛ける。 ・地域活動を通じて町内自治会への参 加を呼びかける。	餅つき大会 花いっぱい運動 毎月ゴミ拾い 盆踊り・お祭り  （振り返り（感想）） 概ね達成	○	餅つき大会 花いっぱい運動 毎月ゴミ拾い 盆踊り・お祭り	年々町内自治会を辞めていくところが見 受けられるためその対策
１４ 身近な防犯、安全対策	防犯青色パトロールの実施	月４回９町内自治会の防犯パトロール を実施  （振り返り（感想）） 概ね達成	○	月４回１０町内自治会の防犯パトロール を実施	参加人員の確保
９ 町内自治会の活性化 １ 情報の収集と共有化	① 地区内町内自治会の定例会を開催 ② 各単位町内会の役員が会議を開催 し、回覧板の回議等について協議	① ２月に１回定例会を開催 ② 毎月会議を開催  （振り返り（感想）） 概ね達成	○	① ２月に１回定例会を開催 ② 毎月会議を開催	① 継続していく ② 回覧板の内容をよく理解してもらう こと
１６ 見守り活動の推進	地区部会と連携した見守り活動の推 進 （各単位町内会で７５歳以上単身高 齢者宅を訪問）	コロナのため活動休止中  （振り返り（感想）） 年度の途中から、活動を実施	△	コロナが落ち着いてきたので活動を実施	実施した時の活動等検討

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 第５０１地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（５～１０割）/ △：一部目標を達成した。（１～４割）/ ×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎/○/△/×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
１ 情報の収集と共有化	１ 平山地区部会の広報紙「ネットワークふれあいニュース」を年２回、発行する。 各専門委員会の活動状況を知らせる。（回覧板）地域イベントの紹介。 交流を図る支援。	●町民に平山地区の様子がわかるよう「ネットワークふれあいニュース」を年２回、発行した。（７月 白黒・１２月 カラー） ●情報収集を得やすくするため各町内会から１名ずつの構成メンバーで編集会議年６回（６～８月、１０～１２月 １１名）やイベントなどの情報を集め、校正などして町民に回覧式で届けている。	○	１ 福祉ネットワーク委員会は、「ネットワークふれあいニュース」を年２回、発行する。（７・１２月） 編集会議年６回（６～８月、１０～１２月 １１名）	◎親しみやすい新聞の名称へ変更、各イベントなどに取材に行き、ニュースを届けていきたい。
２ 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	２-①平山小学校との情報交換を実施する。 ５０１・５０８ 地区の情報交換を実施する。  ２-②誉田・平山地区（５０１・５０６・５０７）の幼稚園、保育園の園長との連絡会議を実施し、連携を深める。  ２-③有吉中学校区青少年育成委員会へ所属し活動することで情報交換や連携を深める。	●幼稚園、保育園・小学校・中学校の情報交換会が年１回主任児童員出席のもと行われており、子供達の理解に役立っている。  ●園長との連絡会議を実施し、連携を深めた。（１１月実施） ●５０１・５０８ 地区の情報交換会は、有吉中で行われ、生徒の見守りができ連携を深めることができた。  ●有吉中学校区青少年育成委員会へ所属し『地域の子どもは地域の大人全体で育てる』をスローガンに活動した。	○	２-①平山小学校と民生・児童委員の会議を開き、子ども達を理解し見守る。（平山小図書室）  ２-②５０１・５０８ 地区の情報交換会は、有吉中の校長も参加して生徒の様子を確認する。（有吉中学校）  ２-③有吉中学校区青少年育成委員会へ所属し『地域の子どもは地域の大人全体で育てる』をスローガンに活動する。	◎幼稚園・保育園・小学校との連携がとれると地域の子育て家庭への支援をさらに充実していけると思われる。
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供（重点取組項目）	３ 平山地区部会「ふれあいいきいきサロン」への更なる支援活動を実施する。	●ふれあいいきいきサロンの活動は、今年度は２回 e スポーツをした。地域高齢者が何十人も参加して盛り上がりとても良い活動に育ってきている。	○	３ 高齢者福祉委員会は、「ふれあいいきいきサロン」をけやき園・緑苑の施設長も加わった１１名で保健センターで実施し活動する。	◎平山地区部会は、令和４年度からの発足であり、地域に合う計画を立てるための各専門部会は、模索しながら活動を始めている。
４ 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	４ 平山地区部会は、障がい者を理解するための学習会を開催したり、共に行事に参画したり更なる支援活動をする。	●障がい者に対する理解を深めるための学習会を開くことから始めている。（認知症について）	△	４ 障がい者福祉委員会は、障がい者を理解するための学習会を行い活動をする。（主に施設の慰問活動）	◎平山地区部会は、令和４年度からの発足であり、地域に合う計画を立てるための各専門部会は、模索しながら活動を始めている。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
5 子育て中の親や子ども が集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	5-①子育てサロンへの協力 5-②平山地区部会「ふれあい子育てサ ロン」への更なる支援活動を実施す る。	●平山地区部会と協働で子育てサロン への協力・運営を行った。 (年10回4月～7月、9月～2月) ●主任児童委員が中心で民生委員・児 童委員0Gと地域協力員で実施し、子 育てに関するアドバイスを行った。 ●新興住宅が増加する中で、ポスティ ング等のPRが行き届き、参加人数が 増え父母同士の交流を深められている。	○	5 主任児童委員が中心で民生委員・児童 委員0Gと地域協力員で実施し、子育て に関するアドバイスを行う。 5-①子育てサロンへの協力を行う。 (年10回4月～7月、9月～2月) 5-②平山地区部会と協働で子育てサロンの 運営を行う。	◎子育てサロンへの協力 ◎新興住宅地が増え、参加者が広範囲か ら来るようになった。 ◎乳児が増えたことによって母親や父親 同士の情報交換が出来ようになったの でさらに交流を深めるように活動して いきたい。
12 防災訓練の充実、意識啓 発、体制整備	12-①災害時の平山小避難所開設訓練 に向けての運営委員会を開催す る。 12-②体制を充実させる。	●平山小(図書室・体育館)で避難所の 運営方法の話し合い、訓練し緊急時 の物品の確認をする。(年2回8月・9 月) ●期限の近づいた物品を学校や運営委 員に寄付し、実際に試食してみた。 ●運営委員(市職員・各町内役員・民生 委員24名)トイレ設置訓練をした。	○	12 平山小(図書室・体育館)で避難所の運 営方法を話し合い、訓練し緊急時の物 品の確認をする。(年2回7月・8月) 運営委員(市職員・各町内役員・民生委 員24名)	◎避難者行動要支援名簿は、毎年配布さ れているが、災害時に機能できるのか は疑問である。
14 身近な防犯、安全対策	14-①有吉中学校のあいさつ運動への 協力。  14-②有吉中学校の環境整備の協力。 (5月・10月花植え)	●508地区民児協と連携し、有吉中学校 のあいさつ運動を民生児童委員を中 心に行った。(有吉中正門他) ※緑区の理事会(月曜日)の翌週の月曜 ～金曜の平日5日間をあいさつ運動 として、通年(夏休みを除く)実施し た。 7:50～8:10実施 (R6)2024年4月～(R7)2025年3月 ●生徒が声を出して挨拶をするようにな ってきた。  ●有吉中学校の環境整備(5月・10月花 植え) 花を植える事により、町を明るく景 観をよくすると防犯対策にもなる。 良い取り組みといえる。	○	14-①508地区民児協と連携し、有吉中学 校のあいさつ運動を行う。(有吉中正門 他) ※緑区の理事会(月曜日)の翌週の月曜～ 金曜の平日5日間をあいさつ運動とし て、通年(夏休みを除く)実施している。 7:50～8:10実施予定 (R7)2025年4月～(R8)2026年3月  14-②有吉中学校の環境整備(5月・10月 花植え) 花を植える事により、町を明るく景観 をよくすると防犯対策にもなる。	◎有吉中学校の挨拶運動は、508地区民児 協と連携して活動できているので、今 後も続けていきたい。  ◎学校の先生や508地区民児協との横の 繋がりを深めることができるので、今 後も続けていきたい。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
16 見守り活動の推進	<p>16-①単身世帯高齢者の見守り活動の実施 例年実施している高齢者の実態調査をするとともに単身世帯高齢者の見守り活動を行う。</p> <p>16-②地区の見守り活動団体との連携 地域で活動している見守り活動団体への協力を行う。</p>	<p>●令和6年度は、高齢者実態調査(5・6・7月)に行われたが、後半はとても暑かった。</p> <p>●敬老会は、会議により各町内会で行うことになった。(6月)</p> <p>●地区の見守り活動団体の定例会に参加し、情報共有やアドバイスを実施したが、訪問活動までには至らなかった。 (5・7・9・12・2月)10名程参加した。</p> <p>●敬老祝い金・品を配布し喜ばれた。 (9月)</p>	○	<p>16-①令和7年度は、高齢者実態調査(5・6・7月) ○各町内会で敬老会開催(有無)の会議をする(6月)</p> <p>16-②地区の見守り活動団体の定例会に参加し、情報共有やアドバイスを実施する。 保健センター・公民館で民生委員・町内役員・ボランティア・社協・あんしんケアセンター等と共に会議をし月1回程度、単身高齢者世帯の見守りを行う。(5・7・9・12・2月)</p> <p>○敬老祝い金・品を配布する。(9月)</p>	<p>◎見守り活動団体が行っている活動は、今年度から実施の方向である。</p> <p>◎2ヶ月に1回程開催される各団体の定例会議には、民生委員が参加し、情報交換を行ってきた。</p> <p>◎見守り活動はボランティアの高齢化の問題も出てきており、若い世代の取り組みが課題である。</p> <p>◎外出困難者・自宅療養中の家族・障がい者(児)の家族等の支援については、支援の手が行き届いておらず、何も確立されていない。特に家族のみに負担がかかるため、地域での早急な取り組みが必要であるように思われる。</p>

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 生活支援コーディネーター緑区

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（５～１０割）/ △：一部目標を達成した。（１～４割）/ ×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎/○/△/×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
１ 情報の収集と共有化	・集いの場および生活支援サービスの 情報収集を行い、千葉市の管理シス テム「生活支援サイト」に掲載し、 情報を公開する。 ・地域および関係機関に、情報提供を 行う。	・地域資源調査を行い、生活支援サイ ト情報の新規登録および更新作業を 行なった。（６～１２月） ・地域活動および各関係機関の会議に 参加し、情報提供を行なった。	○	・地域資源調査を行い、生活支援サイ ト情報の新規登録および更新作業を行 う。 （６～１２月） ・地域活動および各関係機関の会議に参 加し、情報提供を行う。	・「生活支援サイト」未掲載の活動を把握 する。 ・「生活支援サイト」の周知 ・情報共有の手段、方法 ・デジタルディバイド対策
３ 高齢者が集う場の開 設・拡充・情報提供	・集いの場の立ち上げに際し、情報提 供 等を行う。 ・集いの場の活性化および運営支援の ための情報提供等を行う。	・地域活動を訪問し、活動状況の把握 および適宜、情報提供を行なった。 ・おゆみ野地区シニアリーダーを対象 にスマホ講座を開催し、リーダーを 通して体操教室参加者のデジタルデ ィバイド対策に繋げることができ た。（９月） ・緑苑中庭でのラジオ体操開始（１１月 ～）	○	・必要な地域で新たな集いの場の立ち上 げを提案する。 ・新規立ち上げ、集いの場の活性化のた めの情報提供等を行う。 ・活動を周知し、広く参加を呼びかける。	・担い手の不足、担い手の高齢化 ・活動継続のための役割分担 ・活動場所の確保 ・活動場所までの移動手段、移動支援
１０ 地域活動の場の確保	・企業・団体等による活動場所の提供 に関する情報を把握し、周知する。	・企業・団体等による活動場所の提供 に関する情報収集を行い、関係機関 および地域活動団体に共有した。 ① ご長寿くらぶ千葉おゆみ ② ヤックス鎌取店（条件あり） ③ サードスペースみらい （子どもカフェほのん、親子の遊び 場）	○	・企業・団体等による活動場所の提供に 関する情報を把握し、関係機関および地 域に周知する。	・社会福祉法人における感染症対策等を 踏まえた意向の確認 ・企業・団体等への働きかけ ・スペースの活用事例の紹介

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合い活動の状況を把握する。</li> <li>・外出に関しての支援ニーズを把握する。</li> <li>・移動販売サービスの状況を把握する。</li> <li>・新たなサービスの創出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化のため助け合い活動を終了した団体があった。(おゆみ野)</li> <li>・助け合い活動の立ち上げ支援を行なった。(あすみが丘)</li> <li>・移動販売担当者と、利用状況、地域のニーズ等について、情報交換を行なった。</li> </ul> (ヤックス、イオン、マックスバリュ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに移動販売ルートが立ち上がった。</li> </ul> (誉田、平川、若葉区・あすみが丘)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんケアセンターや民生委員と連携し、地域の支援ニーズを把握する。</li> <li>・移動販売担当者との情報交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会への働きかけ</li> <li>・支援ニーズの把握</li> <li>・行政との連携</li> <li>・多様なサービスの情報収集、情報提供</li> <li>・ネット申請やネット販売に対応できるようにする。</li> </ul>
16 見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動および対象者の状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌取みまもーる(隔月)、あすみ見守り隊(毎月)の定例会に参加し、活動状況を把握した。定例会等を通じて、見守り対象者の状況および支援ニーズについて共有することができた。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会への参加、または活動団体への聞き取りを行い、見守り活動の状況および見守り対象者の状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りボランティアの高齢化</li> <li>・活動の周知と募集の方法(対象者の減少)</li> <li>・自治会、民生委員との連携</li> <li>・無理のない見守り方法の検討</li> <li>・SNS等の活用(LINE 見守り)</li> </ul>
17 健康づくり支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアリーダー養成講座の周知を行い、リーダーを増やす。</li> <li>・近くの体操教室の周知を行い、参加に繋げる。</li> <li>・健康課事業を紹介する。</li> <li>・健康課、あんしんケアセンター等の関係機関と連携し、健康意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアリーダー連絡会(毎月)への出席および体操教室の訪問により、活動状況を把握した。</li> <li>・地域活動団体について健康課と情報共有を図った。</li> <li>・健康講座および健康測定会を紹介し、参加者の健康意識を高めることができた。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアリーダー連絡会、シニアリーダー体操教室に参加し、活動状況および課題の把握に努める。</li> <li>・地域活動団体について健康課との情報共有を行い、地域住民の健康づくりを支援する。</li> <li>・社会参加(活動参加)を促進し、活動量アップにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域へ健康課事業や健康を保持する活動を周知し、健康意識を高める。</li> </ul>
18 地域の課題解決に向けた連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関との情報共有およびネットワークの構築を行い、連携体制を整える。</li> <li>・必要に応じて、協議体を設置し、課題解決にむけて検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関の主催する会議に参加し、情報共有を行なった。</li> <li>・緑区第1層生活支援コーディネーター協議体を開催(1月)。福祉施設と共通認識を図ることができ連携体制の強化に繋がった。</li> <li>・あんしんケアセンターと連携し、自治会に、ごみ捨て支援について働きかけを行なった。(3月)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関の主催する会議に参加し、情報共有を図る。</li> <li>・緑区第1層生活支援コーディネーター協議体を開催し、情報共有および意見交換を行う。</li> <li>・あんしんケアセンターと連携し、支援ニーズを把握する。必要に応じて、協議体を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と地域課題の共有、意識の統一を図る。</li> <li>・あんしんケアセンターと情報共有を図る。</li> <li>・地域の多様な主体への働きかけ、連携を図る。</li> </ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
20ボランティアの確保	<ul style="list-style-type: none"><li>・シニアリーダー養成講座の周知、協力</li><li>・ちばし地域づくり大学校の周知、協力</li><li>・社協ボランティア養成講座の周知、協力</li><li>・得意分野を活かした活動に繋げる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・シニアリーダー養成講座第1コースにて、SCの役割とシニアリーダーとの関わりについて講義を担当した。</li><li>・地域づくり大学校にて、SCの役割と地域活動について講義を担当した。</li><li>・社協ボランティア養成講座に参加協力。</li><li>・高齢者の活躍の場について情報収集を行なった。</li></ul>	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・シニアリーダー養成講座の周知、協力</li><li>・ちばし地域づくり大学校の周知、協力</li><li>・社協ボランティア養成講座に参加協力</li><li>・支援が必要な方でも得意分野を活かして地域の担い手として活躍できるよう働きかける。また、担い手として活躍できる場について情報収集を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・講座修了者を活動に繋げる。</li><li>・違う分野、違う世代対象等の多様な活動の情報収集を行う。</li><li>・担い手の高齢化、担い手不足</li><li>・支援が必要であっても、支援される側だけでなく得意分野を活かして担い手として活躍できるようにする。</li></ul>



緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 社会福祉法人ワナーホーム

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	ア 長期入院患者の地域生活に向けた支援	ア 通年で、主に下総精神医療センターと石郷岡病院の、長期入院者の地域移行支援を行っている。年間34名の地域移行支援を行い、うち26名が地域移行（退院）できた。	○ （前年度の目標を30名としていた）	ア 通年で、主に下総精神医療センターと石郷岡病院の、長期入院者の地域移行支援を行っている。年間45名程度の地域移行支援を行い、うち36名の地域移行（退院）を目指す。	長期入院患者の受け皿として、近年は障害者グループホームが急増しており、地域移行の実績件数の増加に現れている。今後は入院患者さんの希望が多いアパートの開拓に向けて、不動産業者等の協力を得る取り組みが必要。オで示した千葉市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業にて取り組む予定である。
	イ 就労支援事業で製造したパンを店舗販売、外販、納品をすることで、障害者の生活や活動に関する認識を広める活動	イ パンの店舗販売は、ペジーブル鎌取店にて行っている。 外部での販売は、緑区役所（週1回）緑保健福祉センター（月2回）と若葉保健福祉センター（週1回）、下総精神医療センター（週1回）、リベータス（月2回）、アビタシオン（週1回）、マリア幼稚園（月2回）、県庁（月2回）、淑徳大学看護学部（週1回）。納品はこども病院、青葉病院に行っている。	○	イ ペジーブル鎌取店にてパンの店舗販売。外部での販売は、緑区役所（週1回）、緑保健福祉センター（月2回）と若葉保健福祉センター（週1回）、下総精神医療センター（週1回）、リベータス（月2回）、アビタシオン（週1回）、マリア幼稚園（月2回）、県庁（月2回）、淑徳大学看護学部（週1回）。納品はこども病院、青葉病院に行く。	ペジーブル鎌取店への来店者は増加傾向にある。店先で来店者が寛いでいることも増えた。今後も立ち寄りやすいパン店舗を目指す。
	ウ 地域の行事への参加を通して、障害者をと市民の交流を図る活動  エ 当法人が開催する行事を市民向けに開放し、障害者と市民の交流を図る活動	ウ 参加せず（コロナ感染対策として）  エ 実施せず	△	ウ 地域の行事への参加を通して、障害者と市民の交流を図る活動  エ 7月に「地域連携推進会議」をグループホーム・フジェールにて開催予定。辺田町町内会長にも「地域住民の代表者」としてご出席いただく予定。 なお、地域連携推進会議は、施設等と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体です。 ・利用者と地域との関係づくり ・地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進 ・施設等やサービスの透明性・質の確	地域連携推進会議は、「事業所を見学する機会」も設けることが求められている。内容や開催時期、広報の範囲など検討中。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
	<p>オ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業並びに構築支援事業(千葉県より受託)</p> <p>(長期入院精神障害者の地域移行支援(退院支援)と地域生活に定着を図るための支援体制整備に係る事業)</p>	<p>オ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職向け地域移行支援研修(病院向け、障害福祉サービス事業所向け、グループホーム向け各1回開催)</li> <li>・一般市民向け精神障害者に関する普及啓発活動は4区で各1回開催、若年層向けは2大学3学部で実施</li> <li>・合理的配慮研修(差別防止)は専門学校、大学、企業向けに各1回</li> </ul>	○	<p>保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の権利擁護</li> </ul> <p>オ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域移行支援の普及活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会と研修会(病院向け・相談支援や障害福祉事業所向け)の」実施 全3回程度</li> <li>・地域移行支援手順書の普及 随時</li> <li>・構築推進サポーターによるOJTの実施 2例程度</li> </ul> </li> <li>2 地域住民・若年層への広報啓発活動実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民向け普及啓発 年1回</li> <li>・若年層向け普及啓発(大学生向け研修)(全3回)</li> </ul> </li> <li>3 当事者の活動支援、ピアサポーターの活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・合理的配慮研修(企業・教育機関・福祉事業所)(全3回)</li> <li>・「語れる当事者」の人材確保に向けた講座等開催(2回程度)</li> </ul> </li> </ol>	<p>精神障害に関する普及啓発活動としての市民向け講座(公民館講座)は、令和6年度は参加者が集まらず開催できない区があった。令和7年度はスプリングフェスティバルの中のプログラムの一つとして全市対象に1回だけの開催とする計画である。市民の関心に沿った市民向け講座を企画できるかが問われている。</p>

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/ ×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
1 情報の収集と共有化	住民が地域でどのような交流、ふれあいの機会、行事を要望しているかを把握します。自治会の回覧や地区部会の広報紙を利用し、情報をみんなで共有できるように努めます。	1) 広報紙『ゆいゆいおゆみ野！』年5回発行（町内自治会回覧、公共施設等配布） ・ R6. 6. 1(第67号発行)、9. 1(68)、12. 1(69)、R7. 2. 28(70)、3. 31(71) ・ 広報委員会 各委員会活動や地域の行事取材・協力・参加随時、委員会開催  2) 地区部会主催事業（委員交流会）→「健康テレビゲーム体験会」開催 ・ 委員の他、ふれあい・いきいきサロン（小規模含む）参加者にも声を掛け、いきいきプラザ・いきいきセンターの協力により、リズムゲーム、パズルゲーム、ボーリングの3種類のゲーム機を用いて行った。  3) 高齢者見守り事業 ・ 「どこシル伝言板をご存知ですか？」を町内自治会回覧にて配布  （振り返り（感想）） おゆみ野地区連協の協力により、町内自治会の回覧板で情報発信ができた。	◎	1) 広報紙「ゆいゆいおゆみ野！」年5回発行予定 ・ 各委員会活動や地域の行事取材・協力・参加（随時） ・ 広報担当者研修会参加（千葉市社協主催）  2) 地区部会主催事業（委員交流会） ・ 日常生活における地域の諸問題などに関連した講演会・映画上映会・レクリエーション等を実施し、委員及び地域住民との交流を深め情報を共有する。  3) 高齢者見守り事業を実施する。 ・ おゆみ野地区連協の協力を得て、町内自治会の回覧板で情報発信をする。	共に活動する委員や協力者を増やす。
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流 （重点取組項目）	住民全体で「子どもは地域で育てる」という意識をもち、子どもたちの集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流等、青少年育成委員会やボランティア団体等と連携しながら推進していく。	1) 子育てサロンの実施：計10回 ・ R6. 5. 21 親子の交流16名 ・ R6. 6. 12 親子あそび（保育士：小田先生の指導による→以下同様）23名 ・ R6. 7. 18 親子の交流5名 ・ R6. 9. 17 親子の交流16名 ・ R6. 10. 23 親子あそび36名 ・ R6. 11. 21 親子の交流9名 ・ R6. 12. 18 親子あそび25名 ・ R7. 1. 21 親子の交流21名 ・ R7. 2. 20 親子の交流、14名 （千葉市食育推進員による幼児食レシ	◎	1) 子育てサロンの実施：年10回予定 開催時間：午前10時～ ・ 鎌取コミュニティセンター R7. 5. 20、9. 16、R8. 1. 20 ・ おゆみ野公民館 R7. 7. 17、11. 20、R8. 2. 19 ・ 緑保健福祉センター R7. 6. 11、10. 22、12. 10、R8. 3. 11	共に活動する委員や協力者を増やす。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/ ×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		<p>ピ紹介、試食)</p> <p>・R7.3.19 親子あそび 25 名 (開催場所：おゆみ野公民館、鎌取コミュニティセンター、緑保健福祉センター)</p> <p>2) 研修会の実施 ・R6.8.22「子どものすこやかな育ちのために～大人ができることを一緒に考えてみませんか?～」 場所：鎌取コミュニティセンター 講師：花澤先生(臨床心理士・公認心理師)</p> <p>3) こども家庭福祉委員会 その他情報交換等の委員会を開催</p> <p>4) 地区小学校(おゆみ野南・小谷)「一年生と昔遊び」「お祭り」への協力</p> <p>(振り返り(感想)) 保育士や臨床心理士等の専門職に依頼することで実のある活動となっている。 また、地域の学校との交流にも努めた。</p>		<p>2) 講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定</p> <p>3) こども家庭福祉委員会 その他情報交換等の委員会の開催</p> <p>4) 地区小学校「一年生と昔遊び」「お祭り」等への協力をする。</p> <p>5) 緑保健福祉センター及び地域の子育て 関連団体への支援協力と連携をする。</p>	
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	ふれあい・いきいきサロンやふれあい散歩クラブ等、高齢者の集う場の設置を推進する。高齢者の状況を把握し、必要としている情報について関係機関(あんしんケアセンターや地域運営委員会等)に紹介する。	<p>1) ふれあい・いきいきサロン：計8回 ・R6.6.13 シニアリーダー体操と脳トレ 40 名 ・R6.7.11 千葉県警察署署長による講話「防犯について」 29 名 ・R6.9.12 久寿里菊之助と百楽庵金一の落語 92 名 ・R6.10.10 緑区健康課による「健康についての話」落語 40 名 ・R6.11.14 末広奇術会の手品とマジック 60 名 ・R6.12.12 クリスマス会「徳永さんの伴奏で懐かしい昭和歌謡曲」 93 名 ・R7.2.13 コグニサイズ(運動と認知症予防) 50 名 ・R7.3.13 ランチのつどい「春うららコンサート(オマージュ)」 104 名</p>	○	<p>1) ふれあい・いきいきサロン：年8回 開催時間：午後1時半～3時 R7.5.8、6.19、7.10、9.11、10.9、11.13、12.11、R8.2.12 鎌取コミュニティセンター他 ・ランチのつどい：1回 R8.3.12 午前10時半～12時 鎌取コミュニティセンター</p>	共に活動する委員や協力者を増やす。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/ ×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		<p>2) 高齢者福祉委員会 その他情報交換等の委員会開催 10 回</p> <p>3) 小規模ふれあい・いきいきサロンへの支援(なつめいきいきサロン・ウエルエイジングの会・ニ水会・花みずきいきいきサロン・パークハウス燦燦会・おゆみ野サークル歌声・春の道カフェ・こやつシニアクラブ・シニアサロン緑、9 団体)</p> <p>4) ふれあい散歩：計 3 回 ・ R6. 9. 26 なつの道公園 34 名 ・ R6. 11. 18 千葉市埋蔵文化財調査センターと大覚寺山墳 49 名 ・ R7. 2. 17 おゆみ野梅観賞会 49 名 ・ R6. 5. 20 (雨天中止)</p> <p>(振り返り(感想)) 皆さん元気で楽しく参加されているようだ。しかし昨年度より参加者が減っているのが課題である。</p>		<p>2) 高齢者福祉委員会 その他情報交換等の委員会開催</p> <p>3) 小規模ふれあいいきいきサロンへの支援</p> <p>4) ふれあい散歩：年 4 回(5、9、11、2 月) 予定</p>	
4 障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	障害者(児)の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介する。障害者(児)やその家族が交流できる場を作る。地域住民と障害者(児)やその家族と交流する機会を設け、障害に対する認識を深めるとともに、地域全体で「心のバリアフリー」を進める。	<p>1) おしゃべり会「障がい児者・保護者の交流会」計 4 回、午前 10 時～おゆみ野公民館 ・ R6. 6. 19 フリートーク 14 名 ・ R6. 9. 18 フリートーク 13 名 ・ R6. 11. 20 フリートーク 12 名 ・ R7. 2. 19 フリートーク 16 名</p> <p>2) 地域での活動(お楽しみ会)：計 2 回 ①「みんなで踊ろう! 盆踊り」65 名 三千つね会(盆踊り披露・指導)、和太鼓白鳳、ゲームコーナー、参加賞。 ・ R6. 7. 6 鎌取コミュニティセンター ②「つくって、おどって、あそぼう!!」76 名 クリスマスツリー・フリスビーを手作り、スリーセブン(障がい児者のダンスパフォーマンス)、クリスマスソングの大合唱、Xmas プレゼント。 ・ R6. 12. 14 鎌取コミュニティセンター</p>	○	<p>1) おしゃべり会：障がい児者・保護者の交流会：年 4 回、午前 10 時～おゆみ野公民館 R7. 6. 18、9. 17、11. 19、R8. 2. 18</p> <p>2) 地域での活動：年 2 回(イベント企画、お楽しみ会等) R7. 7. 5、12. 13 鎌取コミュニティセンター</p>	共に活動する委員や協力者を増やす。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/ ×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		3) 障がい者委員会 その他情報交換等の委員会を随時開催  (振り返り(感想)) 盛りだくさんの内容。親子で楽しめて良かった。参加者への呼びかけを工夫することが課題である。		3) 障がい者委員会 その他情報交換等の委員会開催  4) 施設への訪問	
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 (重点取組項目)	発育、発達、しつけなど子育てへの不安や悩みなどを抱える親に対して、保健福祉センター等と協力し、相談会、講習会などを開催するよう努める。子育て中の親や子どもが集い、仲間づくりができる場(ふれあい・子育てサロン等)を拡充する。	(再掲) 1) 子育てサロンの実施：計10回 ・R6.5.21 親子の交流16名 ・R6.6.12 親子あそび(保育士：小田先生の指導による→以下同様)23名 ・R6.7.18 親子の交流5名 ・R6.9.17 親子の交流16名 ・R6.10.23 親子あそび36名 ・R6.11.21 親子の交流9名 ・R6.12.18 親子あそび25名 ・R7.1.21 親子の交流21名 ・R7.2.20 親子の交流、14名 (千葉県食育推進員による幼児食レシピ紹介、試食) ・R7.3.19 親子あそび25名 (開催場所：おゆみ野公民館、鎌取コミュニティセンター、緑保健福祉センター)  2) 研修会の実施 ・R6.8.22「子どものすこやかな育ちのために～大人ができることを一緒に考えてみませんか?～」 場所：鎌取コミュニティセンター 講師：花澤先生(臨床心理士・公認心理師)  (振り返り(感想)) 保育士や臨床心理士等の専門職に依頼することで実のある活動となっている。孤立しない子育てができるようなアドバイスを心掛けた。	◎	(再掲) 1) 子育てサロンの実施：年10回予定 開催時間：午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R7.5.20、9.16、R8.1.20 ・おゆみ野公民館 R7.7.17、11.20、R8.2.19 ・緑保健福祉センター R7.6.11、10.22、12.10、R8.3.11  2) 講演会・講習会・研修会の企画、参加 年1回程度、時期未定	共に活動する委員や協力者を増やす。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/ ×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	日常生活のちょっとした困り事の手伝いや家事支援が出来るような体制づくりに努める。	1) 登録ボランティアの派遣 ふれあい・いきいきサロンに協力9回  2) ボランティア委員会 その他情報交換等の委員会開催9回  3) 登録ボランティアに対する地区部会活動のコーディネートを実施 ・登録ボランティア：R7.3 現在 14 名  (振り返り(感想)) 登録ボランティアの派遣を推進するように考えていく必要がある。派遣に繋がらない登録ボランティアがいる。	○	1) 登録ボランティアによる各委員会への派遣、協力(サロン、イベント等)  2) ボランティア委員会 その他情報交換等の委員会開催  3) 登録ボランティアに対する地区部会活動のコーディネート (行事案内、懇談会の開催、時節挨拶状の送付、名簿管理等)	共に活動する委員や協力者を増やす。
16 見守り活動の推進	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、また体に障害のある方などの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声かけ等を行う。 社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活の中で無理なく行える見守り活動を実施する。	(再掲) 1) 高齢者見守り事業 ・「どこシル伝言板をご存知ですか？」を町内自治会回覧にて配布  2) 常日頃から地区民生委員・児童委員・各学区の育成員会と連携を密にし、高齢者及び小中学校等地域住民の見守りをするとともに、福祉推進員の協力のもと問題等の把握を迅速に行う体制の整備に努めた。  (振り返り(感想)) 高齢者(世帯)を見守っている家族や支援者に回覧板で情報発信ができた。	○	(再掲) 1) 高齢者見守り事業を実施する。 ・おゆみ野地区連協の協力を得て、町内自治会の回覧板で情報発信をする。  2) 常日頃から地区民生委員・児童委員・各学区の育成員会と連携を密にし、高齢者及び小中学校等地域住民の見守りをするとともに、福祉推進員の協力のもと問題等の把握を迅速に行う体制の整備に努める。	共に活動する委員や協力者を増やす。
17 健康づくり支援 (重点取組項目)	健康を保持する活動を保健福祉センター・あんしんケアセンター及び地域の医療機関等の協力を得て、地域の週会やイベントの機会を利用して実施する。 ラジオ体操やシニアリーダー体操、健康ウォーキング等への積極的に参加する仕組みづくりを推進し、実施する。	(再掲) 1) 地区部会主催事業(委員交流会)→「健康テレビゲーム体験会」開催 ・委員の他、ふれあい・いきいきサロン(小規模含む)参加者にも声を掛け、いきいきプラザ・いきいきセンターの協力により、リズムゲーム、パズルゲーム、ボーリングの3種類のゲーム機を用いて行った。  2) 各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地	◎	(再掲) 1) 地区部会主催事業(委員交流会) ・日常生活における地域の諸問題などに関連した講演会・映画上映会・レクリエーション等を実施し、委員及び地域住民との交流を深め情報を共有する。  2) 各委員会の活動の中で、保健福祉センター・あんしんケアセンター並びに地	共に活動する委員や協力者を増やす。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/ ×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画した。  (振り返り(感想)) いきいきプラザ・いきいきセンター等を利用することで専門的な取り組みが実現できた。		域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画する。	



※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
6. 地域の行事への積極的 参加の呼びかけ、文化の伝 承	<おゆみ野地区連協の活動> 地区行事の実施	おゆみ野夏祭り 8月開催 泉谷小学校 5000人 毎月第一日曜日開催 会長会 新しい自治会長と民生委員の顔合わせ  （振り返り（感想））	○	おゆみ野夏祭り 7月8日予定 おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第一日曜日開催 新しい自治会長と民生委員の顔合わせ	
	<スポーツ振興会> スポーツを主体とした行事への協力	四季の道駅伝 令和7年2月開催 自治会対抗ソフトボール大会 令和6年11月開催  （振り返り（感想）） 住民の参加が少ない 特に駅伝に関しては子どもの集まりが 少ない	△	四季の道駅伝 令和8年2月開催 ソフトボール大会 令和7年11月開催	
12. 防災訓練の充実、意 識啓発、体制整備	<防災> 地域での防災活動	各地区九都県市避難所訓練 令和6年8月25日実施  （振り返り（感想）） 年々参加者が多くなっている	○	各地区九都県市避難所訓練 イオンモール幕張 令和7年8月31日実施予定 地域 令和7年8月24日実施予定	
14. 身近な防犯、安全対 策	<防犯> 地域での防犯活動	① 防犯カメラの設置 ② 青色パトロール  （振り返り（感想））	○	防犯カメラの設置 地域の要望に応じ協議 青色パトロール 防犯協会において毎月交代で実施	

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 第502地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】 ◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。(5～10割) / △：一部目標を達成した。(1～4割) / ×：全く達成できなかった。(～1割)

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
<p>2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流(重点取組項目)</p> <p>3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>4 障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充(重点取組項目)</p>	<p>「支え合う住みよい社会地域から」の推進</p> <p>社協おゆみ野地区部会の中核的活動を担うと共に、その他地域関連団体組織との協働により、積極的な地域福祉活動に努める。</p>	<p>○地域部会への協力</p> <p>地区部会の委員として活動し、高齢者、障害者(児)、子育て中の親子が集う場の提供に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい・いきいきサロン 7 回開催(6/13、7/11、9/12、10/10、11/14、12/12、2/13)</li> <li>・ランチのつどい 1 回開催(3/13)</li> <li>・ふれあい散歩 3 回開催(9/26、11/18、2/17) (5/20 は雨天で中止)</li> <li>・おしゃべり会 4 回開催(6/19、9/18、11/20、2/19)</li> <li>・おたのしみ会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで踊ろう、盆踊り」(7/6)</li> <li>・「つくって、おどってあそぼう!!」(12/14)</li> </ul> </li> <li>・子育てサロン 10 回開催(5/21、6/12、7/18、9/17、10/23、11/21、12/18、1/21、2/20、3/19)</li> <li>・研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どものすこやかな育ちのために～大人ができることを一緒に考えてみませんか?～」(8/22)</li> </ul> </li> </ul> <p>○地域・学校行事への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のあいさつ運動 毎月 1 週間実施</li> <li>・小中学校校長との懇話会(6/11) および各校との交流会(泉谷中: 7/8、泉谷小: 6/24、小谷小: 6/18)を実施</li> <li>・児童・生徒と一緒に花植えを行った。(泉谷小: 12/12、泉谷中: 12/3、小谷小: 12/2)</li> <li>・昔あそびの伝授(小谷小: 1/17)</li> <li>・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力(2/16)</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○地域部会への協力</p> <p>ふれあい・いきいきサロン年 8 回、ランチのつどい年 1 回、おしゃべり会年 4 回、お楽しみ会年 2 回、子育てサロン年 10 回、ふれあい散歩年 4 回などの部会の委員として活動し、高齢者、障害者(児)、子育て中の親子が集う場の提供に協力。</p> <p>○地域、学校行事への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当小中学校校門前で毎月 1 週間、朝のあいさつ運動の実施</li> <li>・担当小中学校校長との懇話会及び交流会において学校内の様子を把握することに努める。(7～9 月)</li> <li>・担当小中学校での「花いっぱい運動」における花植え活動の実施(11～12 月)</li> <li>・おゆみ野地区小学校への昔あそびの伝授(11～1 月)</li> <li>・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力(2 月)</li> </ul>	<p>・積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より確立していくこと。</p>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		<p>○青少年育成委員会・地域運営委員会等への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力(6/22)</li> <li>・おゆみ野探検ウォークラリーは、中止になった。</li> </ul> <p>(振り返り(感想)) 民生委員として、地域との繋がりを持つ活動の重要な内容と考える。 現在の繋がりをより深く強く結んでいく努力をしていきたい。</p>	○	<p>○青少年育成委員会・地域運営委員会等の諸行事や会議にも協力・参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道足跡ペイント再塗装への協力(6月)</li> </ul>	
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目)	<p><b>「災害時一人も見逃さない運動」の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者実態調査、避難行動要支援者名簿、年末の重度心身障害児家庭慰問金配布などの資料を元に取り組み、安全で安心なまちづくりに努める。</li> <li>・避難所運営委員会への参画により、災害時の避難所の運営について検討する。</li> </ul>	<p>○高齢者実態調査により、高齢者の生活状況を確認することが出来た。また、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努めた。</p> <p>○令和6年度も、担当地区での台風・地震などの被害はなく、災害対応では特段の活動を必要としない1年であった。</p> <p>○避難所運営委員会の会議に積極的に参加した。</p> <p>(振り返り(感想)) 幸いにも令和6年度は大きな被害を受ける事が無かった。 が、今後起こりうる大災害を想定して、防災に対する意識をより高めていく必要性があると考えます。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○日常の見守り活動などにより、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努める。</p> <p>○台風・地震などの災害時は、安全確認や被害状況の把握、情報伝達を行う。</p> <p>○避難所運営委員会の会議参加により、災害時における避難所の運営について地区ぐるみで検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後起こりうる大地震・大雨の被害などに対する避難支援体制の強化に向けて、自治会と協力し、具体的な体制作りが必要である。</li> </ul>
18 地域の課題解決に向けた連携	<p><b>他地区民児協との連携</b></p> <p>おゆみ野地区全域に関わる課題を第508、511地区と連携し、活動する。</p>	<p>○「おゆみ野四季の道駅伝大会」への協力(2/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さくらさくさくウォークラリー」は、主催者及び運営方法の変更により、直接の関与は必要なくなった。</li> </ul> <p>○各町内自治会長と民生委員・児童委員の意見交換会を行い、より強い連携を目指した。(6/2)</p> <p>(振り返り(感想)) おゆみ野内の3地区との連携は、おゆみ野地区全域を把握するために今後も深めていく必要性がある。 次年度も今年度同様の活動を続けていきたい。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○「おゆみ野四季の道駅伝大会」(2月)他、おゆみ野地区全域に関するイベントなどの支援・参加を、508・511地区と連携して活動する。</p> <p>○各町内自治会長との意見交換会を開催し、民生委員・児童委員の活動内容を理解してもらう。(6月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・508・511地区との連携を続けながら、おゆみ野地区全域に関わる課題をより強く共有していくこと。</li> <li>・自治会と民生委員・児童委員との日常的な協力体制の構築が必要である。</li> </ul>

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 第５０８地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。／○：概ね目標を達成した。（５～１０割）／△：一部目標を達成した。（１～４割）／×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎/○/△/×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
２ 子ども達の集いの場の 提供・情報提供、地域 と学校との交流 （重点取組項目）	有吉中学校、有吉小学校、扇田小学校 を対象に活動を行っている。 あいさつ運動や花植え活動、ビオト ープへの協力を行う。	１． あいさつ運動は、有吉中学校にお いて、４月から翌年３月まで行っ た。 延べ５５日、参加約５００人。  ２． 花植えは、小・中学校の生徒と行 い、５月は３校で２３人、１１月 は２５人。  ３． ビオトープは扇田小で行い、延べ ５５人の参加。  ・忙しい中、時間をつくり参加できた。	○	１． あいさつ運動の実施 有吉中学校の正門・裏門にて、４～ ３月まで実施。毎月（８月は除く） ５日間行い、延べ５０日、約５００ 人参加予定。  ２． 花植えの実施 ５～６月、１１月に有吉中、有吉小、 扇田小にて実施。延べ約５０人が参 加予定。  ３． 扇田小ビオトープへの協力 地域の人達と協力し、ビオトープの 管理を行う。参加延べ４５人。  ４． 小中学生の学習支援と子ども食堂の 実施。 学習支援は毎週木曜日、子ども食堂 は月１回、第３木曜日	・ あいさつ運動、花植えは参加人数を増 やすようにする。  ・ 学習支援は、地域ボランティアの人た ちの協力を得て実施。  ・ 子ども食堂は緑区の地域活性化事業の 支援を得て、早く皆様に知ってもらい 食堂に足を運んでもらう。
６ 地域の行事への積極的 参加の呼びかけ、文化の 伝承	他地区との協働 おゆみ野地域の第５０２地区、５１ １地区民児協と協働し、連携が保た れる民生委員・児童委員活動を行 う。 （地域の行事・敬老会・その他）	１． 地域の行事に参加、協力 ・ さくらさくさくウォークラリー中止 ・ 四季の道駅伝 ・ おゆみ野夏祭り  ２． 自治会・町内会との情報交換会  ３． 敬老会に協力  ・ 地域の行事に参加ができ、他地区と の協働ができ、町内自治会との情報 も共有できた。	○	１． 地域の行事に参加、協力 ・ さくらさくさくウォークラリー ・ 四季の道駅伝 ・ おゆみ野夏祭り  ２． 自治会・町内会との情報交換会  ３． 敬老会に協力	第５０２地区、５１１地区と協働し、 連携が保たれる民生委員・児童委員活動 を行う。  民生委員・児童委員と自治会との密な 連携が必要。

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 第511地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】 ◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。(5～10割) / △：一部目標を達成した。(1～4割) / ×：全く達成できなかった。(～1割)

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
<p>1 情報の収集と共有化</p> <p>3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>4 障害者(児)・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充(重点取組項目)</p>	<p><b>千葉市社会福祉協議会おゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属</b></p> <p>中核的活動を担うとともに、その他福祉関連団体組織と交流を図り、積極的につながる福祉活動に努める。</p> <p>住民が地域でどのような交流・ふれあいの場を求めているか活動を通して把握し、必要としている情報について関係機関に紹介する。</p> <p>それぞれの委員会にて場を提供・情報提供・地域との交流等、諸団体と連携しながら推進していく。</p>	<p><b>【おゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属】・協力</b></p> <p>地区部会の委員として高齢者・子ども家庭・障がい者・ボランティア・広報委員会に所属・活動し、年間計画のもと住民のふれあい・交流の場を提供に協力した。</p> <p><b>【小規模いきいきサロンの実施】</b></p> <p>●ウェルエイジングの会 第4水曜日おゆみ野公民館 11回開催 13:30～15:30 延275名 ＜内容＞ シニアリーダー体操・脳トレ・クリスマス会・地域の情報提供・敬老会・ゲーム・講演会・調理・多世代交流会</p> <p>●燦燦会 第3水曜日おゆみ野パークハウス集会所にて11回開催 10:00～12:00 延125名 ＜内容＞ シニアリーダー体操・脳トレ・敬老会・クリスマス会・講演会・地域の情報提供・ゲーム・おしゃべり会等</p> <p>(振り返り(感想))</p> <p>※社協の委員会に所属し活動することで、地域の状況等が把握ができて良いが、活動部隊となっている為、いそがしい。活動部隊を増やし民生委員は協力体制をとっていきたい。</p> <p>※各サロンとも関係機関(緑保健福祉センター・あんしんケアセンター・緑いきいきプラザ等)と地域の諸団体に協力依頼をし、サロンの充実を図った。参加者が月一回のサロンを楽しみにし、参加者同士の見守り体制の構築が出来てきた。</p>	◎	<p><b>【おゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属】・協力</b></p> <p>地区部会の委員として高齢者(ふれあい・いきいきサロン、ランチのつどい)、障がい者(おしゃべり会・お楽しみ会)、子ども家庭(子育てサロン)、ボランティア(ふれあい散歩)、広報(ゆいゆい発行)に所属・活動し年間計画のもとに集う場の提供に協力し、地域全体が共に支え合えるまちづくりをめざしていく。</p> <p><b>【小規模いきいきサロンの実施】</b></p> <p>●ウェルエイジングの会 第4水曜日おゆみ野公民館にて申込制 12回開催予定 13:30～15:30 内容シニアリーダー体操・脳トレ・季節の歌・敬老会・クリスマス会・地域の情報提供・講演会等</p> <p>●燦燦会 第3水曜日おゆみ野パークハウス集会所にて11回開催 10:00～12:00 内容シニアリーダー体操・脳トレ・季節の歌・クリスマス会・手遊び・クイズ・調理・ゲーム・講演会等</p> <p>※各サロンとも関係機関(緑保健福祉センター・あんしんケアセンター・緑いきいきプラザ・公民館)と地域の諸団体に協力依頼を仰ぎ、各サロンの充実を図る。</p>	<p>・現在、担い手となっている民生委員の高齢化に伴い、新しい担い手の確保が必要である。(福祉委員を増やしていく)</p> <p>・地域にあった各委員会の内容を検討。</p> <p>・各委員会活動の活性化と資質向上を図り、満足感が得られる活動にする。</p> <p>＜各サロンについて＞</p> <p>・参加している高齢者の健康管理の強化(定期的な健康チェックの実施・・前年度との比較)</p> <p>・休みがちな方への声掛け。(心配事を関係機関へ繋げていく)</p> <p>・地域住民同士の交流の場の提供・情報を共有する。</p> <p>・参加者の募集チラシを配布</p> <p>・参加者に企画側にまわって貰い、やりがいを感じて貰う。</p>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承	<p><b>他地区との協働・連携</b> おゆみ野地域の第502・508地区と協働し、連携が保たれる活動を行う。</p> <p><b>諸団体への連携・協力</b> 地域全体が一体となり、地域の行事に参加する事により、地域の活性化コミュニケーションを高める。</p>	<p><b>【おゆみ野502・508地区民児協との協働・連携】</b> おゆみ野全域に関することに関し、必要に応じて連携し参画・協力した。</p> <p><b>【諸団体への連携・行事等に協力】</b> ●さくらさくさくウォークラリー2025中止。2025に向けて会議に参加。 ●四季の道駅伝大会に参画・協力 2月16日(日)四季の道(遊歩道=ガタガタ道)走行の誘導と交通整理。 参加者209名 民生委員12名参加 ●新自治会長と民生委員の顔合わせ会 6/2(日)鎌コミにて 11:00~12:00 自治会長22名・民生委員12名参加 内容:担当民生委員の紹介・主な活動 避難行動要支援者名簿、敬老会等、民生委員の啓発活動。 ●敬老会開催9月~10月 ・開催自治会3ヶ所 民生委員3名参加 ・記念品を贈呈する自治会4ヶ所。</p> <p>●育成委員会・生徒会行事に参画・協力 ・11/2(土)おゆみ野南探検隊～スタンプの財宝を探せ～ 場所 おゆみ野南中アリーナ(雨天実施) 実行委員会(5回)に参加 <u>延べ人数106名 民生委員11名参加</u> ゲーム・勝つまでじゃんけん! ブースをもって「みんな民生委員を知っている?」のチラシ(作成)と景品を配布し参加者に<u>啓発活動を行った。</u> ・7/20(土)生徒会の除草作業に参加・協力</p> <p>(振り返り(感想)) ※地域の行事等に積極的に参加し、民生委員の周知等を図ることができた。 ※「民生委員」を知らない自治会長への説明に困惑。今後の民生委員の周知の仕方を検討していく。 ※敬老会を開催する自治会が、場所の</p>	◎    ◎	<p><b>【おゆみ野502・508地区民児協との協働・連携】</b> おゆみ野全域に関する事項に対し、必要に応じて3地区で連携して活動を共有する。</p> <p><b>【諸団体への連携・協力】</b> ●さくらさくさくウォークラリー(4月予定) ●四季の道駅伝大会 (2月予定) 実行委員会に参画・協力。遊歩道(ガタガタ道)において走行する児童の誘導と交通整理・見守り。 ●新自治会長との顔合わせと情報交換会 6/7(日)鎌コミにて予定 内容:担当民生委員の紹介・民生委員のPR・活動等について 地域の状況把握等</p> <p>●敬老会開催9月~10月 自治会へ開催の呼びかけし参画・協力。 <b>実施に向け、自治会長との顔合わせの際に補助金のことを説明(6月)、『高齢者が集う場』の構築をお願いする。</b></p> <p>●育成委員会・生徒会行事に参画・協力 12/20(土)おゆみ野南探検隊～スタンプの財宝を探せ～(スタンプラリー) 「スローガン」 子どもも大人も一緒に笑顔で楽しもう 子どもと保護者に行事を通して民生委員の周知を図る。</p>	<p>・502・508地区民児協とおゆみ野地域内の状況・課題等の共有・統一化。</p> <p>目標【顔の見える民生委員・地頭委員になろう】 ・自治会との関係を強化 (民児協活動の理解と促進を図る) ・地域内の問題点・状況を把握し共有する</p> <p>・高齢者の自治会離れの問題。 ・話し相手が出来関係づくりの構築 ・高齢者の孤立を防ぐためにどうしたら良いか自治会と検討していく。</p> <p>・育成のイベントを通して、子ども・保護者への民生委員の啓蒙活動の強化。 ・気軽に相談できるきっかけづくりの構築。</p>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		<b>確保等により年々減少。根本的に市のやり方を検討すべきだと思う。</b>			
10 地域活動の場の確保	地域で行う活動の場として必要に応じて公共施設等(学校・公民館)を市に要望。	<p>関係機関や他団体と相談 ・地域振興課やマンション・学校の空き部屋の利用等、活動場所「場の確保・提供」の相談をした。</p> <p>(振り返り(感想)) 活動の場の提供に努めたが、不審者等の問題があり「場の確保」に至らなかった。今ある、公民館等の公共施設での開催数を増やすしかないが、それには限られた人しか参加できない。その場所へ行く足の確保の問題も浮上る。</p>	△	<p>関係機関や他団体と相談 マンション・学校などの場の確保だけでなく、公園等で活動できる内容を検討していく。</p>	<p>・他団体との場づくり。 ・地域性を把握した活動場所の確保。</p>
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 (重点取組項目)	<p><b>避難所運営委員会に参画・協働</b></p> <p><b>避難行動支援者への支援の強化・自治会との連携(サポータ)</b></p>	<p>【避難所運営委員会に運営委員として参画・協働】</p> <p>●おゆみ野南小学校 7回 4/21(土) 6/23(日) 7/13(土) 8/25(日) 10/12(土) 12/7(土) 2/22(日) 11 自治会・施設管理者・民生委員 5名 内容 避難所解説・運営 DVD 鑑賞、HUG 等の勉強会・備蓄品倉庫確認・会議・避難所開設訓練(九都県市合同)実施 備蓄品棚卸等</p> <p>●おゆみ野南中学校 6回 5/11(土) 7/20(土) 9/28(日) 10/27(土) 2/15(土) 2/15(土) 7 自治会・施設管理者・民生委員 3名 内容 研修会・備蓄品棚卸・会議・避難所開設訓練実施等</p> <p>●金沢小学校 4回 6/1(土) 8/25(日) 10/19(土) 2/8(土) 3 自治会 施設管理者・民生委員 4名 内容 研修会・勉強会・南小避難所開設訓練見学・避難所開設訓練(夜)等</p> <p>(振り返り(感想)) ※各避難所運営委員会に参加し、自治会の方々と連携し、災害時の対応等</p>	◎	<p>【難所運営委員会に運営委員として参画・協働】</p> <p>●おゆみ野南小学校 7回 4/21(日) 6/23(日) 7/13(土) 8/25(日) 10/12(土) 12/7(土) 2/22(土) 11 自治会・施設管理者・民生委員 5名 内容 避難所解説・運営 DVD 鑑賞研修会・HUG 等の勉強会・備蓄品倉庫確認・会議・避難所開設訓練(九都県市合同)・備蓄品棚卸等</p> <p>●おゆみ野南中学校 数回 6/28(土) アリーナ工事、備蓄倉庫増設予定の為、開催日は未定 7 自治会・施設管理者・民生委員 4名 内容 未定</p> <p>●金沢小学校 数回 5/24(土) ・数回予定 3 自治会 施設管理者・民生委員 4名 内容 研修会・勉強会・南小避難所開設訓練見学・避難所開設訓練・備蓄品棚卸等</p> <p>※定例会時にて3カ所の避難所運営委員会の現状把握と情報を交換しあい共有する。 ※民生委員が保有する名簿に掲載されている方の優先順位づけ。</p>	<p>・避難行動要支援者へのサポート体制の強化。</p> <p>・自治会と連携し平常時からの情報収集や具体的な支援体制の構築。</p> <p>・防災知識の普及啓発に努めていく。(他団体等の研修会に積極的に参加)</p> <p>・災害に関し、千葉市の最新情報の把握に努める。</p> <p>・避難行動要支援名簿を有効に活用。</p>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		<p>学び、開設訓練を通して発災時の確認が出来た。</p> <p>※自治会の方々と連携強化に努めた。</p> <p>※3.つの避難所の情報を共有できた。</p>			
14 身近な防犯、安全対策	<p><b>地区内の小・中学校との校長先生との懇親会・情報交換会と昔遊び(授業)の指導協力</b></p> <p>おゆみ野南小、金沢小、おゆみ野南中学校と連携を密にし、情報を共有し合い相談事も丁寧に受け見守りをする。</p> <p><b>朝のあいさつ運動・夕方のパトロール実施</b></p> <p>各地区担当において、外部(公園)だけでなく、地域の商店等にも自主防犯活動を意識することで、防犯意識や犯罪防止を図る</p>	<p><b>各小中学校との校長との懇親会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/15(水)緑保健福祉センターにて定例会後、開催(3校校長・民生委員12名)</li> <li>・学校全体の子どもの様子の様子。</li> <li>・民生委員児童委員の担当区域・活動の説明。その後、茶話会開催。</li> </ul> <p><b>【各小中学校との情報交換会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/16(水)金沢小7名</li> <li>・6/20(火)おゆみ野南小6名</li> <li>・7/12(水)おゆみ野南中12名</li> </ul> <p>※参加者:各小・中学校の校長・教頭・教務主任(生徒指導)・民生委員</p> <p>(振り返り(感想))</p> <p>※支援・見守りが必要な児童の情報提供・交換を行うことができた。</p> <p>※情報交換会は、地域の子ども達を見守る立場でとても重要である。</p> <p><b>【朝のあいさつ運動・夕方のパトロール実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間帯・・・登校、下校、買い物時</li> <li>・実施・・・毎日又は第2の週1週間</li> <li>・全員セーフティウォッチャーに登録し、担当区域別(6カ所)に分かれ実施した。</li> </ul> <p><b>【昔遊び】</b></p> <p>総合授業の一環やお祭り等で昔遊びのブースを提供し協力した。(地域の高齢者へ声かけ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/29(土)おゆみ野南小フェスティバルに参加(全校生徒対象)</li> <li>・民生委員5名、高齢者15名</li> <li>・11/9(土)小谷小お祭り(全校生徒対象)</li> <li>・1/17小谷小1年生の生活科学習</li> <li>・民生委員3名、高齢者7名</li> </ul> <p>(振り返り(感想))</p>	◎	<p><b>【各小中学校との校長との懇親会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/8(水)緑保健福祉センターにて定例会後、開催(3校校長・民生委員12名)</li> <li>・学校全体の子どもの様子の様子</li> <li>・民生委員児童委員の活動の説明。</li> </ul> <p><b>【各小中学校との情報交換会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6/11(火)金沢小</li> <li>・6月～7月おゆみ野南・おゆみ野南中</li> </ul> <p>※各小中学校校長・教頭・教務主任との情報交換をする。担当区域内の支援・見守りが必要な子どもの状況が共有・より見守りの強化を図る。</p> <p>※夏休みに向けての注意事項について</p> <p><b>【朝のあいさつ運動・夕方のパトロール実施】</b></p> <p>実施・・・毎日・第2の週1週間</p> <p>時間帯・・・登校、下校、買い物時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自、担当区域別(6カ所)に分かれ、朝のあいさつ運動・夕方のパトロールを実施・見守りをする。</li> <li>・セーフティウォッチャーに登録。</li> </ul> <p><b>【昔遊び】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校より依頼があった場合、高齢者に声かけをし、一緒に参加して楽しむ。</li> </ul>	<p>引き続き、民生員委員児童委員の活動について理解して貰う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学区外通学の子ども達が多い中、他地区との連携が保たれる民生委員・児童委員を行う。(502地区・503地区)</li> <li>・子ども達が安心安全に暮らしていけるよう学校との見守り体制を密にしてい</li> </ul> <p>く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回登校時、遅刻をする子どもに対し遅刻をしないように声かけをしていく。</li> <li>・店舗等の見守り。</li> <li>・こどもや若い世代の保護者へ、イベントを通じて民生委員の周知を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔遊びを指導する高齢者が減少。サロン等で声かけし、指導者の確保に努めたい。</li> </ul> <p>児童たちの祖父母への声かけ・協力を得る。</p>



取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
		※両校とも子どもと高齢者の世代交流ができ、高齢者も子ども達も双方と喜んで楽しいひと時を過ごしていた。子どもの笑顔が高齢者を元気にさせた。			
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	・日常生活の中でのちょっとした困りごとや外出困窮者を支援するため状況を把握し、助け合いの情報提供をするほか必要な体制づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おゆみ野南地区におけるバスの運行の必要性や本数等についてバス会社へ働きかけをした。</li> <li>・6年度もバスの時刻表を作成し、公民館においてもらった。 (おゆみ野公民館前から鎌取駅)</li> <li>・常日頃から社協と育成委員会と連携を密にし、子どもから高齢者までの住民の見守りに努めた。</li> </ul> <p>(振り返り(感想))</p> <p>※路線バスの縮小(本数減)に伴い、買い物の困窮者や病院への交通手段がない為、少しずつ人と遮断する人が増えてきている。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者・独居(特に男性)の孤立の増加に伴い、既存の社会資源(サービス)等の紹介やサロンへの案内のチラシを配布し参加を促し、人との関わりを遮断しない見守り活動をする。</li> <li>・買い物支援として移動販売や配送サービスの実地状況を把握し、情報提供をする。</li> <li>・常日頃から社協と育成委員会と連携を密にし、子どもから高齢者までの住民の見守りに努める。</li> <li>・高齢者のゴミ出し支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとを気楽に打ち明けられる土壌づくりに努める。</li> <li>・ひとりにしない運動=声かけを推奨。</li> <li>・チラシ等の配布</li> <li>・高齢者の困りごとを把握し、助け合い活動の必要性と対応について働きかけていく。</li> </ul>
16 見守り活動の推進	<p>【住民への訪問・声かけ・情報提供の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者・高齢者世帯・高齢者のみ世帯・障がい者など支援を必要とする世帯の見守りをし、高齢者実態調査やその他必要に応じて訪問・声かけを行う。また、迅速に伝達するために訪問やチラシ等をポスティングする。</li> <li>・緑保健センターやあんしんケアセンター等の関係機関との連携</li> </ul>	<p>【5～6月高齢者実態調査(75歳以上)】</p> <p>●75歳以上・・聞き取り調査 1021件 内容:①～⑤配布</p> <p>①安心カード(自宅用・携帯用)</p> <p>②『避難指示で必ず避難』のチラシ(独自)</p> <p>③『通話録音装置等の設置経費補助』のチラシ(独居の方へ)</p> <p>④あんしんケアセンターのチラシ</p> <p>⑤いきいきサロンの案内</p> <p>●70歳～74歳の高齢者へ②④⑤をポスティングした。 460件 ①は70歳以上の転入高齢者へ</p> <p>(振り返り(感想))</p> <p>※調査時において困りごと等を関係機関・専門機関(あんしんケアセンター等)へつなぎ、連携強化を図り見守り体制を築いた。</p> <p>※体調を崩している高齢者が多い為、高齢者へ介護認定の申請の案内を配布した。</p>	◎	<p>【5～6月高齢者実態調査(75歳以上)】</p> <p>●75歳以上・・調査 内容:</p> <p>①『困ったときの相談窓口』のチラシ 独自のチラシ作成</p> <p>②あんしんケアセンターのチラシ</p> <p>④安心カード(自宅用・携帯用) (転入者70歳以上の高齢者へ)</p> <p>⑤いきいきサロンの案内</p> <p>※調査時において困りごと等を関係機関・専門機関(あんしんケアセンター等)へつなぎ、連携強化を図り見守り体制を築いていく。</p> <p>※必要な高齢者へ介護認定の申請案内をする。</p> <p>●70歳から74歳・・上記の①②⑤をポスティング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる高齢者対応のための情報交換(民児協内・関係機関)</li> <li>・他地区への居住の見守りについて</li> <li>・軽度認知障害・独居の増加に伴う、見守りの強化</li> <li>・自治会に入っていない人の見守りについて</li> <li>・チラシを作成し、情報提供をしていく。</li> <li>・あんしんケアセンターとの連携・情報共有。</li> <li>・安心カードの周知の徹底(70歳～) 携帯用と冷蔵庫の趣旨を説明し、見守りの徹底。</li> <li>・必要性がありながら、福祉サービスを受け入れず拒否する高齢者への対応。</li> </ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
20 ボランティアの確保	<b>【新たな担い手の確保】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他団体のイベントを通してまた、民生委員活動をする中で、新たな担い手を確保していく仕組みづくりを推進する。</li> <li>高齢者が元気に地域にてボランティア活動が行える場の提供・情報を発信していく。(元気な高齢者を増やす)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな担い手の確保の為、他団体(育成・町内自治会)の会議や地域のイベント等を通して声かけをしたが、3名の欠員は埋らなかった。</li> <li>高齢者にボランティア活動の場の提供をした。(随時)</li> </ul> (振り返り(感想)) <ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員って大変ですね。〇〇さんのようにやれない。やめるときは自分であとがまを見つけないと辞められないですね。と言われることが多い。何とか民生委員のイメージを変える方法はないかと模索しながら、人探しをしている。市からの応援をお願いしたい。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月に一斉改選を迎えるにあたり、502地区よりおゆみ野中央9丁目が511地区のエリアとなる。その為、定員が1増の16名となる。11月で定年者が3名、欠員が3名の中、新たな担い手の確保に努め欠員3名となるが、来年6月に2名確保となる。</li> <li>残り1名に関しては、町内自治会・育成・欠員区域の住民・地域の諸団体等に声掛け早々に確保に努めたい。その際、民生委員の役割・活動を正しく伝え理解して貰えるよう働きかける</li> <li>高齢者が元気に地域にてボランティア活動が行える場をサロン等で紹介し参加を促していく。</li> </ul>	<b>【令和8年度に、「担い手」の確保】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1名の欠員に向けての担い手の確保。自治会・諸団体等に民生委員児童委員の活動内容だけでなく、その意義を伝え、活動を正しく理解して貰えるようにPR活動をする。</li> <li>専業主婦やリタイアして生活している人が減っている中で、民生委員の担い手の確保は難しい。</li> <li>参加してくれる住民・ボランティアを増やしたい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会・親睦会・研修会を通じて、委員同士の連携・コミュニケーションの促進を図り、新任委員が参加しやすい定例会にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に実施したバス研修(旭市防災資料館見学)で得た知識をみんなで話し合った。</li> <li>地区の民児協の活動が活発にスムーズに行くように市からの情報を共有すると共に地区内の研修会・勉強会を開催し定例会の充実を図った。</li> </ul> 10/9(水)参加者13名 『あなたに合う施設選びについて』 講師 介護施設 老人相談センター 11/15(金)参加者12名 『こどもプレパーク(子ども達の森公園)見学 2/12(水)参加者12名 障がい者グループホーム 『リベルタスおゆみ野BASE』見学	○	『一斉改選迎えるにあたり!』 <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての委員が対等な立場で活動に参加する水平型の組織であること。お互いに尊重し何でも言える相談できる民児協を目標とする。</li> <li>新任民生委員が孤立しないように心がける。</li> <li>バス研修会・研修会開催予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年の高齢者調査に向けて、調査対象世帯数の把握と委員別担当区域の見直しを検討する。</li> <li>委員の資質向上のため、研修会等を開催し民児協の充実を図る。</li> </ul>

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 千葉市あんしんケアセンター鎌取

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
2. 子供たちの集いの場の提供・情報提供、地域と学校の交流	・多世代交流を目的としたサロンへの訪問。  ・認知症サポーター養成講座	・多世代交流コミュニティカフェスペース “ふぁんてらす”を訪問し、活動状況の把握を行った。 日時：R6.11.15 場所：みんなの広場 回数：1回訪問。月1回第3日曜日開催  ・開催日時、場所、（受講人数） R6.11.25 おゆみ野南中学校（213人） R6.11.29 有吉中学校（162人） R7.1.15 泉谷中学校（212人）  （振り返り） 平成28年より緑区高齢障害支援課と協働で緑区内の各中学校の1年生を対象にジュニア認知症サポーター養成講座を開催している。令和6年度は、地域の民生委員さんにも見学に来てもらったことで、学校と地域の繋がりが多少持てたのではないかと感じている。	○	・ジュニア認知症サポーター養成講座を、泉谷、有吉、おゆみ野南の各中学校にて開催。※泉谷中は6/16に開催予定。他は開催日未定。	・あんしんケアセンターは65歳以上の方を対象としてするため、子どもたちの交流の場の情報収集や情報提供を積極的に行うことが難しい。高齢者向けのサロン等を探す中で、子どもたちの交流につながるような情報があれば提供していくこととする。  ・ジュニア認知症サポーターは、若い世代との交流を図りながら、認知症の啓発が行える良い機会となっている。令和7年度においても継続していくこととする。
17. 健康づくり支援	・シニアリーダー体操教室や地域活動への訪問。  ・シニアリーダー体操教室や地域活動でのミニ講座の開催  ・企業による出張講座の活用  ・健康測定会の実施	・シニアリーダー体操教室12か所、地域活動13か所を訪問（複数回訪問した場所もあり） ・健康啓発や地域資源に関する情報提供及びミニ講座71回 ・企業等による出張講座開催：終活（1回）高齢者施設（2回）歩行測定会（2回）体操教室（1回）フレイル講座（1回） ・緑いきいきプラザと合同で健康測定会を開催（1回） （振り返り（感想）） 広報紙を年度内4回作成し、熱中症やウォーキングなど介護予防に関する記事を掲載した。体操教室や地域活動で配布することで、記事に対する質問も多くあがっていたことから、効果的な介護予防啓発を図ることができたと感じている。	◎	・地域の体操教室や、各活動団体を訪問し活動に関する支援を行うほか、ミニ講座や健康測定会の開催等を通じ健康に関する啓発を行う。期間：R7.4～R8.3	・75歳以上人口が年々増加する中で、介護予防は更にその必要性を増していると考えられる。令和7年度においても、ミニ講座や健康測定会を通じ、介護予防に関する動機付け及び啓発を継続していくこととする。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
19. 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	・総合相談支援業務	<p>・日時：日曜・祝日を除く 9:00～17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター鎌取 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 件数：2757件（延べ）</p> <p>（振り返り） 総合相談においては、本人、家族の気持ちに寄り添い、課題解決に向けた支援の提案や必要な支援に繋いだ。また必要に応じ行政各課、地域の介護サービス事業所、医療機関など関係機関との連携を図りながら対応を行った。</p> <p>（振り返り（感想））</p>	○	<p>日時：日曜・祝日を除く 9:00～17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター鎌取 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 件数：未定</p>	・介護保険サービス利用に繋がる以前から、疾病や老化による生活上の悩みを抱えている家族は多い。あんしんケアセンターの役割を知ってもらうことで、必要時には相談してもらえよう、周知活動を継続していくこととする。

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 緑区老人クラブ連合会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
8. 老人クラブの活性化 17. 健康づくり支援	1. 活動促進事業 ①指導者研修会（2回：30名予定） ②役員研修会（1回2名を予定） ③女性委員会研修会（2回14名予定） ④老人クラブと子ども会育成交交流会（2階で30名を予定）	① 指導者研修会は12月23名、3月12名の2回開催で35名が参加した ② 県外研修は不参加。代替で役員研修し、2回開催。「高齢者施設の現状」 ③ 2地区で開催し、15名が参加  ④ 1月に2地区で開催し、31名が参加。児童は81名の参加あり  （振り返り（感想））	◎ △ ◎ ◎	① 指導者研修会：12月12名、3月8名を予定 ② 県外研修会参加は1回で2名を予定 ③ 2地区で開催し、10名を予定 ④ 2地区で開催し老人クラブ15名参加予定	① 参加者の増員を目指す ② ③ 高齢化で女性委員が不足気味である ④ 小学校との協議が必要でやや流動的
	2. 健康づくり・介護予防支援事業 ①グラウンドゴルフ（4回：127名予定） ② 輪投げ&ダーツ（4回：240名予定） ③ ルディックウォーキング（1回：25名予定） ④ パークゴルフ大会（3回：45名予定）	① 2地区で開催し101名が参加 ② 2地区で4回開催し235名が参加 ③ 雨天順延となり、21名の参加予定が13名に減少した ④ 3回開催し51名が参加した いずれも好天に恵まれ予定通り消化した  （振り返り（感想））	○ ○ ○ ◎	① 2地区で6回開催、80名参加予定 ② 2地区で6回開催、160名参加予定 ③ 10月20日（月）開催し15名参加予定 ④ 3回開催、36名参加予定 ⑤ Eスポーツ（ボウリングゲーム）大会 2地区で4回開催、30名参加予定	① 参加人員の増加を図り予算消化を図る ② 同上 ③ 同上 ④ 同上 ⑤ 新種目につき講習を繰り返し行い参加者の増加を図る
	3. 地域支え合い事業 ①「社会奉仕の日」活動（9月：60名参加予定） ②友愛活動研修（2地区で15名の予定）	① 9月に5クラブで67名が参加 ② 2地区で12名が参加した  （振り返り（感想））	◎ ○	① 9月に4クラブで35名参加予定 ② 4クラブで研修し10名参加予定	① ②ともに問題なし

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
	4. 活動支援体制強化事業 ① 芸能大会(10月29日70名予定) ② 料理教室(3回で40名予定) ③ 活動展資料作成 ④ 自立体力測定(5クラブ40名の予定)	① 辺田つどいの館で開催、67名が参加初の会場でも大成功で終了した ② 2地区で開催し45名が参加した味噌づくり講習会も開催し17名が参加 ③ 3回の開催で18名が原稿作りに参加 ④ 冬場の体調不良等で欠席が出て、5クラブで開催も37名の参加になった。	○ ◎  ◎ ○	① 10月30日(木)辺田つどいの館で開催35名参加の予定 ② 2地区で開催し25名参加予定 ③ 3回の開催で15名参加予定 ④ 4クラブで開催し30名参加予定	① 音響機器の手配が必要である ② ③ ④は予定どおり開催実行する。

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。／○：概ね目標を達成した。（５～１０割）／△：一部目標を達成した。（１～４割）／×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎/○/△/×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
１ 情報の収集と共有化	広報紙【椎名だより】を発行。 社協の活動、行事の推進や地域行 事・伝承文化を伝える	「椎名だより」３１、３２号発行 世帯数１１４６、椎名小、公民館、ＪＡ等 約１２００部配布	×	「椎名だより」３３、３４号発行予定 世帯数１１４６、椎名小、公民館、ＪＡ等、 約１２００部配布	社会福祉協議会行事情報提供、住民団体 の情報確保
２ 子ども達の集いの場の 提供・情報提供、地域と 学校との交流 （重点取組項目）	小学校の児童に、地域での助け合 い、ボランティア精神の育成	福祉バザーに小学生が参加	○	福祉バザーに小学生が参加	学校との共通理解が必要
	小学校の児童に、地域での福祉の役 割や福祉に対する認識を高める 授業の実践、 SDGｓの授業を通して環境への認識 や行動力を高める。 地区の特性を生かした食育教育を 体験させる。 地域の伝統文化を継承する。	・福祉出前授業 ４年生５０名 １０/１６  ・SDGｓの授業 ６年生３０名、１０/１８  ・５年生４０名 育苗観察４/１８、田植え 体験５/１１、稲刈り９/１２、感謝祭２/２１ ・羯鼓舞の発表１２月 ２００名以上参加  ・地域の特色を生かした支援の確立	◎	・福祉出前授業 ４年生３０名 １０月  ・SDGｓの授業 ６年生３０名、１０月  ・５年生 育苗観察４/１５、田植え体験５ 月、稲刈り９月、感謝祭１０月 ・羯鼓舞の発表１２月 全校児童、保護者 ２００名以上参加 ・地域の特色を生かした支援の確立	おゆみ野ＪＡ婦人部、 民生委員、椎名社協、 ＰＴＡ、学校職員、 保護者、 ライスセンター職員 実施後の話し合い企画
３ 高齢者が集う場の開 設・拡充・情報提供	ふれあい食事会の開催 高齢者の親睦と繋がりを深め、安ら ぎの場を提供する	４月～６月／１０月～３月、９回開催、 ２００名参加	◎	・４月～６月／１０月～３月、９回開催、 ２００名参加予定	ボランティア、社協、参加者 毎回２０名前後の参加
	健康体操の会の開催 健康百年を目指し健康維持の促進	・令和６年度２年目 健康測定／健康体操／健康講座の実 施 原則毎月第４週水曜日開催 ９：３０～１１：００ ・椎名崎６月、刈田子７月、 富岡・落井・中西・茂呂１０月、 大金沢・小金沢１２月、古市場１月 合計１００人の参加	◎	・令和７年度継続事業３年目 健康測定／健康体操／健康講座の実施 原則毎月第４週水曜日開催 ９：３０～１１：００ ・椎名崎５月、刈田子６月、 富岡・落井７月、中西・茂呂８月、 大金沢・小金沢９月、古市場１０月 実施予定	ななゆめの里介護士、 あんしんケアセンター、 区社会福祉協議会、 地区理事、各町内会長、 区健康課職員／参加

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
	いきいきサロンの開催 話し合いの場を通して、ふれあいの 心や親睦を深め合う	・令和6年度新規事業 原則毎月第4水曜日開催 11:00～12:00 ・椎名崎6月23人、刈田子7月13人、 富岡・落井・中西・茂呂10月20人、 大金沢・小金沢12月18人、 古市場1月16人	◎	・令和7年度継続事業 原則毎月第4水曜日開催 11:00～12:00 ・椎名崎5月、刈田子6月、 富岡・落井7月、中西・茂呂8月、 大金沢・小金沢9月、古市場10月 実施予定	ななゆめの里介護士、 あんしんケアセンター、 区社会福祉協議会、 地区理事、各町内会長、
	金婚式・米寿の方の記念写真 撮影／贈呈  敬老会 再会の喜びと親睦の交流	・金婚式2組／米寿3組 記念写真の撮影・贈呈11/3  ・椎名地区8地区合同敬老会開催9/30 みどり寿司49名参加	◎	・金婚式／米寿 記念写真の撮影・贈呈11/3  ・椎名地区8地区合同敬老会開催9/29 みどり寿司50名参加予定	理事／町内会長／役員による企画、運営
6 地域の行事への積極的 参加の呼びかけ、文化の 伝承 (重点取組項目)	コミ懇による福祉バザーの実施 地域住民のふれあい事業	1/26(土)椎名小学校 13時～15時 10テーブル／児童ボランティア参加 社協理事、町内会長、関係団体、ボラ ンティア 売上約6.6万円 民生委員高齢者活動支援2万円 地区活動費4万円 参加者300人	◎	1/25(日)椎名小学校 13時～15時 10テーブル／児童ボランティア参加 社協理事、町内会長、関係団体、ボラ ンティア 地域産物の提供を期待 参加人数300人を希望／パンフレット の配布	福祉教育の一環として小学生の体験教 育の場としたい
10 地域活動の場の確保	・公民館の新設促進委員会の促進  ・ペットボトルキャップ回収活動 理事活動位置づけ	・公民館に拠点の設置要望 公民館改築要望書提出  ・ペットボトルキャップ回収活動 6町内実施 新団地への町内会加入の促進	◎	・公民館に拠点の設置内容の充実 ・公民館新築の推進  ・ペットボトルキャップ回収活動 10町内に広げる 新団地への町内会加入の促進	・区役所との連携促進 地域団体の連携促進  ・実施町内会町民参加 社協理事
11 生活環境の整備	令和6年度より地域バス大幅減 朝夕3便のみ／交通難民 交通確保対策の検討	住民の交通網機関の確保 買物／病院通院等への交通確保困難	×	住民の交通網機関の確保 買物／病院通院等への交通確保対策の 検討	交通対策の検討
12 防災訓練の充実、意識啓 発、体制整備	防災訓練の充実／住民の参加 9/1連協主催合同訓練に参加	災害時に備え積極的に参加	○	災害時に備え積極的に参加	連協合同開催に参加
13 災害時ボランティア活 動の充実	災害時ボランティア活動の充実	ボランティアの登録者の確認と参加	○	ボランティアの登録者の確認と参加	年1回確認する
14 身近な防犯、安全対策	身近な防犯・犯罪被害の防止	防犯パトロールの組織と活動の理解 防犯パトロールカーによる地区巡回 の支援	○	・防犯パトロールの組織と活動の理解 ・防犯パトロールカーによる地区巡回の 支援	



取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	日常生活の困りごと、手伝いや家事支援体制づくり	連絡方法、電話方法、家族連絡等の体制を明確にしておく	○	連絡方法、電話方法、家族連絡等の体制を明確にしておく	声かけ／近所の見守り支援体制の構築
16 見守り活動の推進	高齢者、障害者、見守り者に声かけ、挨拶、見回りを行う	・毎月外回り、郵便受け、公園巡回を実施 ・毎月役員の会合にて意見交換を実施	○	・毎月外回り、郵便受け、公園巡回を実施 ・毎月役員の会合にて意見交換を実施	ボランティアの不足
17 健康づくり支援 (重点取組項目)	健康講座の開催、食事サービス時の健康相談の実施、ウォーキングの推進	・健康体操の会を各町内で実施 20名参加 ・食事サービス時健康体操の実施 20名	○	・健康体操の会を各町内で実施 20名参加 ・食事サービス時健康体操の実施 20名	・地域の散歩者の支援
18 地域の課題解決に向けた連携 (重点取組項目)	公民館運営及び改築に伴う要望を協議し要望書を提出する	隔月、関係団体による話し合い実施 市／区行政機関との話し合い開催 20名	△	隔月、関係団体による話し合い実施 市／区行政機関との話し合い開催 20名	
19 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	高齢者・認知症を介護する家庭への支援体制を確立する	近所、団体が確認し、気安く支援がとれる関係を確立する	○	・近所、団体が確認し、気安く支援がとれる関係を確立する	・個人情報を守り信頼関係を作る
20 ボランティアの確保	地域住民の協力を柱として生活全般について支援する	向こう三軒両隣の精神、助け合いの心を高める挨拶言葉の掛け合いの心で接する関係構築	○	向こう三軒両隣の精神、助け合いの心を高める挨拶言葉の掛け合いの心で接する関係構築	・ボランティア意識の向上、参加

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 椎名地区町内自治会連絡協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
14 身近な防犯、安全対策	<椎名地区町内自治会> 子供達の通学路が暗く危険な箇所がある	みどりのは葉記念病院～ファミリー マート間1000mの道路の照明を設置協議 1基設置（令和7年4月11日）	◎	、	
18 地域の課題解決に向けた連携	<連協・社協・民児協・スポ振・教育 委員会・JA女性部・公民館> 公民館新設に向けた協議 椎名小学校避難所対策 （雨漏れ箇所の整備）	地域関係団体で「椎名公民館新築委 員会」を組織し、活動した。 ① 市長に全与党と要望書提出 令和6年8月27日 ② 住民説明会開催 令和6年12月25日 建設委員会で打合せ市と継続協議中	◎	① 学習振興課と協議、受講 公民館内設備 ② 防災対策課と協議 他地区との連携	① 公民館間取り検討 ② 高効率化 ③ 避難所としての公民館検討 駐車場確保
18 地域の課題解決に向けた連携	<椎名地区町内自治会> 椎名小学校横の緊急車両用道路が陥 没した	① 小学校状況聞き取り ② 緑土木事務所と協議	△	① 土木事務所計画協議 原因と対策 ② 市と協議	早期復旧

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 第503地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
2 子ども達の集いの場の 提供・情報提供、地域と 学校との交流	<b>福祉教育等への協力</b> 椎名地区部会やその他関係団体と 連携し、福祉出前授業や食育支援事 業を実施	①椎名小学校4年生（40名）を対象と した福祉出前授業  ②椎名小学校5年生（36名）を対象と した食育支援授業  （振り返り（感想）） 食育支援授業では、種まき作業の見 学、田んぼに入って田植え、秋の稲 刈り等、実際作業を体験 ※生徒さんの喚声が嬉しそう	◎	①椎名小学校4年生（35名）対象の福祉 出前授業  ②椎名小学校5年生（37名）対象の食育 支援授業 （予定内容は昨年と同様）	①福祉の分野は広いので、いろいろ内容 を検討して専門職の方の協力を得て継 続したい  ②食育支援授業に関しては、携わるメン バーの高齢化や協力者の確保に懸念が ある
18 地域の課題解決に向け た連携	<b>地域福祉活動団体との連携</b> 地域の様々な行事に協力を行う	①社協地区部会常任理事会（毎月）に 出席し、意見交換する  ②歳末独居高齢者宅の訪問  ③椎名地区合同敬老会（9月） バザー（1月）  （振り返り（感想）） ①地区部会での意見交換や会合は重 要である ②敬老会や高齢者宅の訪問は、元気な 姿、顔を拝見する喜びあり	◎	①社協地区部会常任理事会（毎月）への 出席  ②歳末独居高齢者宅の訪問  ③椎名地区合同敬老会（9月） 米寿・金婚者の記念写真撮影（11月）  ④椎名地区福祉バザー（1月）	※各事業に携わるメンバーの高齢化が進 んでいる→協力者の確保の推進
20 ボランティアの確保	<b>民生委員・児童委員の後継</b> 担い手を確保する	人材の発掘等に係る協力依頼 ※欠員が生ずる場合の後任者につい て、各団体の協力を得て速やかに決 定する  （振り返り（感想）） 退任者及び各団体との会合にて決定 した	○	民生委員活動のPR及び理解と協力を 得たい ※12月一斉改選あり	スムーズな後継者の確保

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
1 情報の収集と共有化	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民会員、賛助会員、公的機関等に地区部会の各種活動を知らせて理解、協力を広めながら事業を推進する。</li><li>・事業に参加する活動会員と推進する支援者を募集して各種活動の拡充を図る。</li><li>・地区部会の構成団体や関係機関の役割を紹介し、連携した効果的な事業にする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報紙「ふくし」、年2回、1回1.3万部発行、公民館等の公的機関には非会員も利用できるよう掲示依頼</li><li>・福祉活動写真ニュース、2回発行</li><li>・写真パネルの内容を工夫し、全住民対象の活動時に情宣用として活用</li><li>・写真を中心にした活動の記録</li></ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報紙「ふくし」発行、年2回、1回1.3万部、専門委員会5部門の活動紹介を中心に、構成団体、関係機関の役割と存在意義の紹介の工夫</li><li>・福祉活動写真ニュースの発行、年2回</li><li>・写真パネルによる情宣活動の改善</li><li>・写真を中心にした活動の記録</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・構成団体や関係機関の役割を理解し、各種活動等への参加や利用による有益さに気づくよう記事内容と構成を検討する。</li><li>・約45%の未加入者（非会員）に対しての情宣方法を検討する。</li></ul>
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	<ul style="list-style-type: none"><li>・中学3年生の思春期ふれあい体験学習に子育てサロン参加の親子が講師として協力する。</li><li>・核家族で体験できない子育て中の親の思いや乳幼児の取り扱いを体感する機会にする。</li><li>※夏休みや日曜日に小学生が集える場として高齢者と交流する機会を設ける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・土気及び越智地区4中学校でのふれあい体験学習に親子で参加協力する。</li><li>9月土気中、10月大椎、越智、土気南中</li><li>※7月と8月のボッチャサロンに小学生を招待し、ゲームとおしゃべりを楽しむ。</li><li>※8月のサマーフェスティバル、11月の昭和の森ウォークラリーでゲームやクイズを楽しみながら交流を広める。</li></ul>	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・ふれあい体験学習協力—4中学校の指導計画により各1回、親子で参加協力する。</li><li>※全住民対象の事業、サマーフェスティバルと昭和の森ウォークラリーにグループ等で参加し、楽しめるように改善する。</li><li>※8月のボッチャサロンへの参加に向けて公民館を通して学校に働き掛ける。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各学校に協力する活動で、多くの親子が交流体験を増せる機会とする。</li><li>※多世代との関わりが広く体験できる機会となるよう各事業の内容と運営の仕方を工夫する。</li><li>※育成委主催マラソン大会に代わる行事への支援の仕方を検討する。</li></ul>
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・サロン活動、散歩クラブ、ふれあい食事会への参加の意義を再確認して、各活動の質的改善と量的拡大を図る。</li><li>・各活動の質的改善のために他会場での取組みを活用しやすいように活動内容のファイル化に努める</li><li>・各活動、各会場での会員と支援者の増員を図る一方、未設置地区での新設及び参加希望者の隣接会場での受け入れ態勢づくりに努める。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・いきいきサロン—19箇所（1箇所全休）、208回実施、会員延1882人、支援者延804人参加。参加率はいく分低下する。</li><li>・ボッチャサロン—12回実施、会員延210人、支援者延103人参加</li><li>・散歩クラブ—5箇所、57回実施、会員延202人、支援者延67人参加、実施回数は回復、高齢化が進み参加率低下する。</li><li>・ふれあい食事会—土気、越智ともに調理ボラの人員不足のために隔月に実施。会員数も定員に達しなく、調理ボラと会員の募集に努める。</li></ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"><li>・いきいきサロン18箇所、ボッチャサロン月1回実施。会員数前者248人、後者40人で、障がいのある方の参加も調整中</li><li>・ファイル化した好評な内容の活用等により会員の参加率を高める。</li><li>・散歩クラブ—第2サロンの発展としてクラブを新設。参加率の回復のために取組みの工夫と新会員の募集に努める。</li><li>・ふれあい食事会—越智区も毎月実施を目指して調理ボラの募集に努める。公的機関の協力により健康相談の充実を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各活動の実施回数の回復にとどまらず、活性化を図り、満足が高まる活動にする。</li><li>・活動のファイル化と活用しやすい保管法を工夫する一方、映像を利用した活動ができるよう用具、設備の補充に努める。</li><li>・高齢化した会員と支援者の活力づくりと世代交代を目指して新規募集法を工夫する。</li><li>・未設置地区参加希望者を受け入れる態勢づくり及び新設に向けた働き掛けを工夫する</li><li>・食事会の多角的な意義を再確認し、定員枠、班編成、交流のあり方等を再検討する。</li></ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
4 障害者(児)・その家族 が集う場の開設・拡 充・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種福祉施設や団体との共催事業として人とのふれあいをテーマに、障害者による演技や製作生産品に触れながらの交流を通して福祉に関する各種の取組みに関心を持ち、理解を深める機会とする。</li> <li>* 障害者と交流する場を各種活動の中に位置付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい福祉フェスティバルー10月、2日間、土気駅前広場、共催団体13、出演団体10、演技演奏や製作生産品の販売を通して交流</li> <li>・ブースでの写真パネルの展示と小物づくりによる交流、ひまわりの会との共演辞退</li> <li>* ボッチャサロンー1月1回実施、公民館、高齢者が楽しめるスポーツによる交流を図る</li> <li>* 障害者施設の参加について検討する。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい福祉フェスティバルー10月に2日間、共催団体14、出演団体は多数予定、演技演奏や製作生産物品の販売等による交流</li> <li>・ハッピーフレンドのひまわりの会との共演</li> <li>・写真パネルの展示と小物づくりによる交流</li> <li>* ボッチャサロンー4月から月1回実施、5月末会員高齢者41人、車椅子利用者1人 支援者4人+7人</li> <li>* 障害者の参加について会員と支援員の賛同もあり、施設と調整を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル写真の単なる展示から情宣活動を意識したパネルの一新と展示法を工夫する。</li> <li>・障害者施設の取組みを理解し、その思いや願いを踏まえた地区部会活動として可能な取組みを検討する。</li> <li>* 障害者への対応で感じている不安と対処法を検討し、楽しみながら共生できるようにする。</li> </ul>
5 子育て中の親や子ども が集う場の開設・拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児が自由に遊べ、親が仲間づくりができるよう見守りを重視した活動とする。</li> <li>・室内だけでなく屋外活動も取り入れる。</li> <li>・支援員の専門性を補い、親の育児を高めるために保健指導員による育児相談会を実施する</li> <li>* 4中学校3年生の学習に協力参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンー2箇所×12回実施、2回は野外活動、1回はクリスマス会 支援者延217人、会員延434人で、会員の参加者数はほぼ昨年と同じ。</li> <li>・指示を減らし子や親が取組みを自由に選択できるよう遊具等の配置を工夫する。</li> <li>・保健福祉センター保健指導員による歯科を中心とした相談会1回だけ実施。</li> <li>* 4中学校の思春期ふれあい体験学習へ親子で参加し、触れ合い、語り合いながら相互理解を図る。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンー2箇所×12回の予定、2回は昭和の森での野外活動、1回はクリスマス会</li> <li>・親子への直接的な指導ではなく見守りに重点を置いた活動になるようにする。</li> <li>・保健福祉センター指導員による育児相談会は2回予定</li> <li>* 思春期ふれあい体験学習ー土気地区4中学校での学習に親子と支援員が参加協力する。9月、10月、11月予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊びと親の情報交換や仲間づくりが効果的に出来るように遊び場と語り合う場を工夫する。</li> <li>・不安感も薄れて参加者も増えているが、従来の状況には達していない。口コミや公的機関等による推称に応えられる態勢づくりに努める。</li> <li>* 中学校の学習計画の意図の理解を図り、参加協力のあり方を検討する。</li> </ul>
6 地域の行事への積極 的参加の呼びかけ、文 化の伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種行事の取組みに共催、協賛団体として参加し、つながりづくりに努めるとともに、地区部会の理解を広めていくための情宣活動に取り組む。</li> <li>* 他団体が主催する行事にも会員が積極的に参加することを勧め、地域全体が交流する機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土気南中区敬老会、町内自治会と民児協との共催だが、対象者が多数のため中止</li> <li>・サマーフェスティバルー町内自治会、育成委、サッカークラブ等との共催、秋に実施</li> <li>・小中学生マラソン大会は中止、新行事への支援要請なく静観中</li> <li>・プラザまつりー展示部門への参加を予定、日程が重なり参加を断念</li> <li>・ふるさとまつりー実行委として計画作成に参加、区社協の取組みに協力</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会単位での敬老会には依頼により協力する。</li> <li>・サマーフェスティバルー開催に向けて進行中、参加の意義を高めるために活動内容を再検討する。</li> <li>・マラソン大会に代わる行事への協力未定</li> <li>・ふるさとまつりー地区部会としての協力、参加の仕方について検討する。</li> <li>* どの行事も高齢者の「いばしょ」づくりにつながるので会員等に参加を勧める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共催、協賛事業は個々の事業のねらいは異なるが、共通している地域のつながりづくりについては一層理解を深めていく。</li> <li>・許容されている範囲での情宣活動を工夫し地区部会の理解と活動の拡大に役立てる。</li> <li>* 地域住民の社会参加の意義を再確認しながら現状に甘んずることなく進展していけるよう地区部会のあり方も見直す。</li> </ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の自主防災組織による諸活動への協力と地区部会に期待される取組みについての検討に努める。</li> <li>* 推進員、支援員、さらには活動会員の災害時に備えた意識啓発に努める。</li> <li>※災害発生時の状況把握、特に高齢な活動会員の速やかな把握のための連絡体制づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 地区の自主防災組織から要請されているが、他からはなく地区部会の取組みとして検討するには至っていない。</li> <li>* 市防災対策課の出前講座で「災害への備え」について研修したものの、未受講者に資料による自己研修を勧める程度で、会員への対応について検討するまでには至っていない。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自主防災組織は災害発生時の対応に力点が置かれがちである。地区部会としては発生前の対応から検討することとする。家具類の転倒防止、備蓄品の保存等</li> <li>* 出前講座の未受講支援員が準備や心構えについて理解を図るよう機会ある度に確認するとともに会員の意識啓発にも取り組む。</li> <li>※各サロンやクラブ等で担当者が中心になり活動会員の状況把握に努める体制づくりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織からの要請を待つ一方、出前講座を足掛かりにして地区部会として取組み可能な対応について検討する。</li> <li>* 高齢会員は、意識が高まっても行動化できない方もいる。転倒防止等は必要によっては「助け合い活動」に位置づけていく。</li> <li>※日頃の各種活動における出欠席の状況把握を災害時の対応の素地づくりとする。</li> </ul>
13 災害時ボランティア活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区部会の日頃の活動で災害時に活かせる取組みと新たに期待される取組みについて検討に努める。</li> <li>* 地区部会関係者、特に高齢な活動会員の速やかな状況把握のための体制づくりに努める。</li> <li>※日頃の活動のための応急手当の習得が災害時に活かせることを確認し、習得に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各活動への参加は任意で、欠席者への対応がなおざりがちである。連続欠席者の状況把握に努め、災害時の速やかな状況把握に活かせるようにする。</li> <li>* 困り事への対応としての日頃の活動は少ない。助け合い活動を広めるとともに支援員の増員に努め、災害時の活動につながるようにする。</li> <li>* 救命法講習会を2年連続して実施したので令和6年は未実施。災害時も想定しているという意識が幾分薄れての結果である。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定期間連続欠席者の状況確認を確実に行之、災害時の状況把握の体制づくりにもつなげていく。</li> <li>* 困り事を抱える高齢者が増えているはずであるが、助け合い活動が広まらない。取組む地域を広げるとともに支援員の増員を図り、災害時助け合いの下地作りに努める。</li> <li>* 出前講座による「災害の備え」についての理解を支援員から活動会員に広める。</li> <li>家具転倒防止と安全確保、備蓄品等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の自己被害を最小に食い止める準備を通し、自力ではできないことを助け合って取り組んでいけるようにする。</li> <li>* 災害時の素地づくりがあってこそ活動につながるという考えに立ち、日頃の各種活動での欠席者の状況把握や助け合い活動の拡大及び支援員の増員に努める。</li> <li>* 緊急事態発生時の通報や救急車到着までの待機中の対応として応急手当の一翼を担えるようにする。</li> </ul>
15 助け合い活動の推進・外出困難者への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の困り事を把握し、助け合い活動の必要性の理解とその対応について働き掛ける。</li> <li>日常的なゴミ出しの支援を足掛かりに軽作業などの取組みに拡充していく。</li> <li>外出困難者の買い物や通院の手段として既存の社会資源を紹介する一方、各地区での取組みを拡大する。</li> <li>困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大木戸台、大椎台の活動や定例会に在住推進員を中心に支援役、推進役として参加する。</li> <li>はなみずき台を含めた3団体の活動内容や運営法を紹介し、他地区の開設に向けて働き掛ける。</li> <li>ここ数年、他地区での開設には至っていないが、あすみ地区で開設に向けた取組みが始める。</li> <li>外出困難者が無料利用できる介護施設等の配車協力が減少して3団体となる。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存3団体は確実に実績をあげている。支援役として引続いて努める。</li> <li>「シニア支援の会」の歩みを好事例として他地区の働き掛けに活用していく。</li> <li>各種会議や活動で情宣に努めているが、あすみ地区の取組みを開設までに引き上げていく。</li> <li>買い物支援として移動販売や配送サービスの実施状況の把握に努める。</li> <li>路線バスの縮小や廃止に伴い、買い物等の困難者の発生状況の把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情には違いがあり取組み差が出るが、共通した困り事を中心にしながらも地域に応じた助け合い活動を広めていく。</li> <li>好事例の紹介による発意を期待しているが、より積極的にアンケート調査も検討していく。</li> <li>民間の移動販売や配送サービス、介護タクシーや福祉タクシーの利用ができない場合を想定して助け合い活動を推進する。</li> <li>助け合い活動が拡大しない要因には、つながりの希薄さがあると考え、既存の各種の交流のあり方を見直していく。</li> </ul>



取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
16 見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合い活動と関連する活動として位置づけて一人暮らしで孤立気味の高齢者を定期的な調査結果などを足掛かりに把握する。</li> <li>・閉じこもり→老化→要支援→要介護の流れの断ち切りと改善の必要性について理解を図る。</li> <li>・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりこそ基礎になるという認識で、普段の交流の拡充と既存の活動の紹介に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3自治会の活動に支援役として参加、運営補助金でも支援する。</li> <li>・大椎台―対象者1名、協力者15名をグループ2,3人に分け、外部からの観察を毎日実施、地域のパトロールも実施</li> <li>・大木戸台―対象者10名、協力者6名で週2回実施、ゴミ出しの手伝いを同時実施</li> <li>・あすみ第一―対象者9名(外部観察8、直接会話1) 協力者17名、5ブロックに分けて月1,2回実施 ※ 非希望該当者48名、さりげない見守り実施</li> </ul> <p>* 地区による対象者の増減という相反する状況の発生要因を検討する。</p>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3地区の支援事業として取り組む一方、他地域でも発案者や協力者が出るよう働き掛ける</li> <li>・既存の防犯パトロールなども足掛かりに、見守りパトロールや見守り活動へと進展できないか働き掛ける。</li> <li>・アンケート調査による希望者の割り出しが期待されるが、対象者の複雑な思いを考慮して実益が感じられる活動にする</li> <li>・見守りとゴミ出しは、孤立の防止や困り事の手助けになるので両者のセット化を奨励する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歩みや高齢化率に違いがあるので見守り活動の必要度の高い地域の割り出しとして、推進員在住地区の民生委員の調査などを参考にまずは把握していく。</li> <li>・見守りだけでなく、軽度の困り事にも対応して孤立の防止に加えて安心づくりや交流づくりにも努める</li> <li>・新たな活動を組織する負担感を薄めるために既存の活動を活用する是非について検討する。</li> </ul>
17 健康づくり支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関や専門家による地域住民への直接的指導、推進員と支援者の専門性を補う研修を通して確かな取組みができるようする。</li> <li>・活動会員だけでなく、多くの住民が参加できる事業により、交流の場を拡大するとともに心と身体の健康づくりができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各サロンで保健福祉Cにより年1回、あんしんケアCにより2年に1回指導を受ける。</li> <li>リハビリ専門職及びいきいきセンターによる指導は希望により随時受ける。</li> <li>・健康講演会―保健福祉C 推奨講師、全住民対象だが講師の都合により中止</li> <li>・ボランティア研修会…シニアリーダーによる健康体操実施</li> <li>・昭和の森ウォークラリー…連協、スポーツ振興会との共催で全住民対象、恒例行事として11/23に実施、乳母車利用者から高齢者までが参加できるコース等の設定</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各公的機関の特性に基づいた指導によりサロン活動の充実を図るとともに、会員が日々の生活を見直しする機会とする。</li> <li>・健康講演会―保健福祉C 推奨講師による講演会、対象は全住民とする。</li> <li>・ボランティア研修会―シニアリーダーによる健康体操を研修し、高齢化が進んでいる中での各種活動に取り込んでいく。</li> <li>・昭和の森ウォークラリー―子供から大人200+50人の参加を想定し、多彩な活動と交流による「きずな」づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各サロンで受けた指導による取組み状況を情報交換して各活動や個々の生活の改善を図り、一層の健康づくりに努める。</li> <li>・活動の自粛に伴い表面化したフレイルの防止には複数の側面がある。心身の健康づくりのために、本会の活動だけでなく他団体の活動への参加も勧め、各機能の低下の防止や治療に役立てられるようにする。</li> </ul>

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 土気地区町内自治会連絡協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
1 情報の収集と共有化	住民が、地域でどのような交流、ふれあいの機会、行事を要望しているかを把握します。自治会の回覧や地区部会の広報誌を利用し情報をみんなで共有できるように努めます。	（振り返り（感想））		・月1回の役員会にて情報共有を行い、適宜回覧板で情報共有を行う。 ・解決すべき問題点があれば、役員会で解決を検討する。必要に応じ中学校区連絡協議会や緑区役所など行政窓口相談する。（トークン住宅自治会）	・月1回の役員会にて情報共有を行い、適宜回覧板で情報共有を行う。 ・解決すべき問題点があれば、役員会で解決を検討する。必要に応じ中学校区連絡協議会や緑区役所など行政窓口相談する。（トークン住宅自治会）
2 子ども達の集いの場の提供、情報提供、地域と学校との交流	子ども達の学習を地域でみまもり、アフタースクールや公民館・図書館等での学び。体験学習を支援するほか、児童・生徒が福祉に対する理解を深められるよう、福祉教育に協力します。また、こども食堂等により、経済的に困窮しているこどもの支援等を行います。	・大椎中学校区青少年委員会と連携を図る。児童、生徒が福祉に対する理解を深められるよう、福祉教育に協力する。 ・学校だよりの回覧 （振り返り（感想））			
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	土気いきいきサロン 社会奉仕兼ウオーキング （ゆうゆう散歩） ふれあい。いきいきサロンや散歩クラブ等、高齢者が集う場の設置を推進します。高齢者の状況を把握し、必要としている情報について関係機関（あんしんケアセンターやいきいきプラザ等）に紹介します。	・ふれあい4・いきいきサロンや散歩クラブ等、高齢者が集う場の設置を推進するため、社協土気地区部会の福祉活動推進との連携を図っている。 毎月第2金曜日実施 （あすみが丘8丁目町内会：8丁目サロン） （振り返り（感想））		・ふれあい4・いきいきサロンや散歩クラブ等、高齢者が集う場の設置を推進するため、社協土気地区部会の福祉活動推進との連携を図る。 （あすみが丘8丁目町内会：8丁目サロン）	
7 子ども会の活性化	住民全体で、「子供は地域で育てる」という意識をもち、子供たちの活動に積極的に参画し、活動ないようを充実させ、新規加入を促進していきます。	・住民全体で「子供は地域で育てる」という意識をもち、子どもかいの活動に積極的に参画し、活動内容を充実させる。 （あすみが丘南自治会） （振り返り（感想））		・住民全体で「子供は地域で育てる」という意識をもち、子どもかいの活動に積極的に参画し、活動内容を充実させる。 （あすみが丘南自治会）	



取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
8 老人クラブの活性化	高齢者が仲間づくりの輪を広げ、生きがいをもって生活してけるよう、サークル活動等の充実に努め、老人クラブの活性化を図ります。また、子ども会と連携し、お互いの交流を図ります。	(振り返り(感想))			
9 町内自治会の活性化	町内自治会への参加を促進し、住民の地域福祉活動への関心を高めます。	(振り返り(感想)) ・これからの対応を積極的に行う必要あり ・他地区の対応の研究の必要あり		・転入者への挨拶と自治会加入へのお誘いをする。 ・自治会の住民が楽しめるイベントを企画する。家族作品展等を実施予定 (土気団地自治会) ・町内会館活用の促進 ・子育て世代への町内会活動の紹介 敬老会 餅つき大会復活 福祉後援会 室内ゲーム 室内スポーツ	・自治会の高齢化や住民の入れ替わりに対応できるよう、自治会運営のより良い形を模索して行く。
11 生活環境の整備	高齢者や障害者の生活環境の整備の観点から、道路表面の案内表示のサイズや色の統一について、道路関係部署等に要望します。	(振り返り(感想))			
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	防災組織 防災訓練・備蓄品等の充実 ・家庭において避難場所の確認や防災用品の準備等を行うよう、意識啓発に努めます。 ・地域における防災訓練の充実を図り、地域での意識啓発や避難誘導體制・情報伝達体制の整備、避難行動要支援者名簿の活用、地域諸団体の連携強化に努めます。 ・町内自治会集会所、防災組織の集会所等の施設を活用した連絡拠点の整備、防災備品の充実等に努めます。	・支援希望者リスト・支え合いカード・協力者リストの更新 ・避難訓練の団地内実施の検討 ・防災訓練の充実 ・避難訓練の町内会内実施。 令和6年度は2回実施 (振り返り) ・自治会館内の備チェック等は実施できた。		・再度防災訓練の定期化を図る。	・訓練内容のマニュアル化を考慮する。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月中峠集会所において、緑消防署土気出張所の職員からの指導の下、防火防災訓練を実施予定(消火器の取り扱い要領(梅が丘自治会))</li> <li>・11月10日土気中央町内会館において班長以上及び一般会員の希望者にて緑消防署土気出張所の協力の下、電話の掛け方、消火器の使い方、防災備品の確認等訓練を実施した。(土気中央町内会)</li> <li>・12月8日防災訓練実施</li> <li>・防災会議3回開催</li> <li>・大椎中学校での避難所開設訓練参加(説明会含め2回)</li> <li>・あすみが丘8丁目防災防災倉庫備品在庫確認(あすみが丘8丁目町内会)</li> <li>・9月防災時協力者リスト</li> <li>・災害時要支援者リスト更新</li> <li>・団地内通信を利用して災害時備蓄品の提起(振り返り)</li> <li>・防災訓練ができなかった。(土気団地自治会)</li> <li>・自主防災組織の連絡網を整備した。</li> <li>・防災研修会の報告を行い簡易トイレの準備を呼びかけた。</li> <li>・防災倉庫の棚卸を行った。(振り返り)</li> <li>・防災倉庫の非常食の更新を検討したが、区役所から補助対象外との回答で購入も賛成が得られず実施しなかった。(トーカン住宅土気自治会)</li> <li>1. 避難所運恵右委員会運営の向上を図る町内会独自の「災害対策専門委員会」を8/4と8/11の2回(参加人員6名)を行い8/25開催の避難所開設訓練に臨んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所、部屋、備蓄倉庫及び非常用井戸設備等の巡回と同時に建物の安全確認を行う一方、体育館で避難者受付、避難所設営等の実施訓練を行った。</li> <li>・非常用井戸の水質確保のため隔週での揚水を継続実施</li> </ul> </li> <li>2. 町内会を構成する5組の防災隊による避難訓練を11/30実施参加人員40名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の協力を得て、消火訓練、煙テント体験、救急救命訓練を体験した</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月下旬から11月上旬土気中央町内会館において昨年同様実施予定</li> <li>・防災訓練実施</li> <li>・防災会議開催</li> <li>・大椎中学校避難所運営委員会開催</li> <li>・あすみが丘8丁目防災防災倉庫備品在庫確認(あすみが丘8丁目町内会)</li> <li>・6月緑区避難所運営委員会研修に参加</li> <li>・災害時に備えての意識啓発を掲示板や団地だよりを通して行う</li> <li>・避難訓練を実施する上げの情報収集</li> <li>・令和8年2-3月に役員組織改定に伴い、令和8年度自主防災組織の連絡網を整備し総会で共有する。</li> <li>・総会で防災研修会の報告を行い、防災意識啓発を図る。</li> <li>・新規入居者に自主防災組織の連絡網を配布し避難所情報を伝える。</li> <li>・共同運営しているあすみが丘4丁目自治会と連携し、継続開催していく。</li> <li>・手狭になっている備蓄倉庫の検討を行う。</li> <li>・災害対策専門委員の県主催講習会への参加と、欠員になっている、女性委員探しを行う。</li> <li>・防災隊の連度向上を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の役員が出席する会議が、大変多く、町内会行事に参加すると、仕事が犠牲になり状況によっては収入が減る。</li> <li>・団地内避難訓練がされていない現状で過去にノウハウがあったかも不明</li> <li>・過去の自治会役員に聞いたり資料がないか探してみる。</li> <li>・令和8年2-3月に役員組織改定に伴い、令和8年度自主防災組織の連絡網を整備し総会で共有する。</li> <li>・総会で防災研修会の報告を行い、防災意識啓発を図る。</li> <li>・新規入居者に自主防災組織の連絡網を配布し避難所情報を伝える。</li> <li>・現在、女性の災害対策専門委員が欠員となっているので、女性目線での対応検討の為に、早急な候補者探しを行っていく。</li> <li>・備蓄倉庫の在庫調査と整理整頓</li> <li>・避難行動要支援者対応方針の決定(先ずは、出来そうな事項の検討)</li> </ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備		<p>(振り返り)</p> <p>1.2.項共に、従来から行っており参加体験が有効になると考えます。 (土気南中央町内会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき家庭において避難場所の確認や防災意識の啓発</li> <li>・災害時における役員間の情報を万全にする。(美空台自治会)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき家庭において避難場所の確認や防災意識の啓発</li> <li>・災害時における役員間の情報を万全にする。(美空台自治会)</li> </ul>	
13 災害時ボランティア活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ボランティア部員、人材リーダーを募集し、体制の強化を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ボランティア部員、人材リーダーを募集し、体制の強化を図る。</li> </ul>	人材の確保
14 身近な防犯、安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールを組織し、地域単位に自主防災活動を展開します。また、パトロール中に防犯チラシを配布し注意喚起に努めます。</li> <li>町内、商店等に防犯ポスターや防犯チラシを配布し注意喚起に努めます。</li> <li>町内、商店等に防犯ポスターやステッカーを掲示し、防犯意識の向上と犯罪抑止を図ります。さらに、空家のチェックリストを作成し、点検します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色防犯パトロール 千葉南警察署管内防犯協会との連携による、青色防犯パトロールの実施1自治会年4回実施 (芦見が丘8丁目町内会)</li> <li>・夜間防犯パトロール(毎月2回実施予定)</li> <li>・青色防犯パトロール実施(年5回予定)</li> <li>・自治会の交通防犯部員による防犯パトロールを実施する。</li> <li>・一般住民による住民防犯パトロール、愛犬家によるわんわんパトロールを実施する。</li> <li>・千葉南警察署との連携による青色防犯パトロールへの参加、協力を行う。 (あすみが丘南自治会)</li> <li>・自治会員の高齢化が進んでおり、訓練中の怪我や事故を回避する必要があることから、防火防災訓練等の訓練内容も十分な配慮が必要。</li> <li>・防災訓練参加者について毎年、自治会役員メンバー及び土気南中学校避難所運恵右委員会メンバーが固定化されていることから、防災意識と災害時における初期行動認知の観点から、自治会全体の課題として捉え参加者拡大に向けた意識、工夫が必要である。 (あすみが丘第一自治会)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色防犯パトロール 千葉南警察署管内防犯協会との連携による、青色防犯パトロールの実施1自治会年4回実施予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーを増やすこと</li> </ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
14 身近な防犯、安全対策		・千葉南警察署との防犯パトロールの継続(毎月月末実施10名町内会6組の有志めんばーによる防犯パトロール参加人数の減少傾向(振り返り)全般的によく対応できている		継続して実施していく	・町内会の防犯パトロール参加者の増員策検討
15 助け合い活動の推進、外出困難者への支援	日常生活の困りごとや外出困難者を支援するため、既存の社会資源(移送サービス・移動販売等)について情報提供するほか、必要な体制づくりに努めます。				
16 見守り活動の推進	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、体に障害のあるかたなどの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声掛け等を行います。社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活のなかで無理なく行える見守り活動を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の新規募集を図るも、参入者なく、今年度も引き続き、見守り対象者：8名、見守り協力員：17名で、令和5年度と同様の活動を展開する。</li> <li>・一人住まいの方への見守りパトロール「外部からの見守り」の実施。独自リスト37名 (あすみが丘第一自治会)</li> <li>・民生児童委員と協力し、子供の見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りを検討した。</li> <li>・継続して8丁目いきいきサロンを開催してコミュニケーションを図った。 (あすみが丘8丁目町内会)</li> <li>・納涼会や集会所清掃(1回/月)一斉清掃のイベントを行い住民同士の関係を深め、困りごとを気軽に打ち明けられる土壌づくりをする。 (土気住宅自治会)</li> <li>・民生児童委員と協力し子供の見守り、高齢者への定期声掛け訪問の仕組みを構築する。 (振り返り)</li> <li>町内会役員会で定期的な話し合いを行ったが具体的な方法が確立できない。 (土気町内会)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員と協力し、子供の見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りを継続して検討する。</li> <li>・継続して8丁目いきいきサロンを開催してコミュニケーションを図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当自治会は歴史も古いので、旧来の向こう3軒両隣精神を復活させ、組長、班長等にて定期的な訪問を具体化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の確保</li> <li>・他の団体と連携を図る。</li> </ul>

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
16 見守り活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員と協力し、子どもの見守り、高齢者への定期的な声掛け訪問などの仕組み作りの検討 (土気団地自治会)</li> <li>・独居高齢者や高齢者世帯への声掛けや、見守り訪問が十分に行えなかった。 (トーカン住宅土気自治会)</li> <li>・学童の登下校時における見守り積極的な挨拶 当自治会は子育て世帯が多いことから、見守り活動等の実施時に大人から積極的に挨拶を行う</li> <li>・青色防犯パトロールの効果的な実施 (振り返り)</li> </ul> <p>子どもたちの元気な声がする自治会なので、まず大人から積極的な挨拶が大事です。子供たちも元気に挨拶をしてくれます。</p> <p>(美空台自治会)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、本項目の活動の予定は無し</li> <li>・学童の登下校時における見守り積極的な挨拶 当自治会は子育て世帯が多いことから、見守り活動等の実施時に大人から積極的に挨拶を行う</li> <li>・青色防犯パトロールの効果的な実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の退会者の増加を防ぐには、如何にすべきか</li> </ul>

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 第504地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者の居場所づくりの協力 ・千葉市および緑区の福祉行政に係わる諸活動の協力 一斉調査・実態把握実施 ・千葉市社会福祉協議会の諸活動への協力 ・新規いきいきサロン土気団地開設	・いきいきサロン高津戸町内会館18人、土気団地20人 オレンジカフェたんぽぽ20人、コミュニティカフェお茶っこ高津戸町内会館にて18人、あんしんケアセンター・社協の支持・支援を頂きながら実施した。 ・家にこもらない高齢者のために ・身体を動かしてフレイルにならないように ・低栄養に気を付ける ・社会参加をしていく ・情報交換の充実	○	・いきいきサロン 毎月第2木曜日10時～12時 高津戸町内会館 16人・スタッフ4人 ・お茶っこ 毎月第4水曜日10時～12時 高津戸町内会館 10人・スタッフ8人 ・いきいきサロン各地域で実施を継続していく ・理学療法士、保健師、栄養士、看護師、歯科衛生士の講師に指導依頼をお願いする。 ・会員同士の情報交換 ・フレイル予防のための講話 ・参加するのに来所できない人の送迎の援助としてボランティアの協力を得て継続していきたい ・コロナ以来自粛ありで進めてきたが、そろそろ募集、口コミをしていきたい。	・参加者を増やそうと思う ・継続をするためにボランティアスタッフを大事にしている ・楽しく、安全な活動を運営していきたい ・こもりがちな高齢者が外に出ることができる場所の提供をしたい ・高齢者が健康的に生活ができる手伝いを企画し、詐欺などの被害に遭わないように指導を継続すること ・健康寿命の手伝い継続する
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	子育てサロンや地域活動への協力	・ふれあい体験学習の運営に協力し、子どもたちに命の尊さについて感じる機会を与える。 ・なかなか赤ちゃんの参加が集まらない中で、参加してもらえてとてもありがたい ・命を学ぶ生徒の皆さんの対応も素晴らしい ・とても大切な時間とを感じる。	○	・土気中学校3年生の生徒と土気地区部会子育てサロンの参加者の交流会として楽しみにしてもらっている。	・ふれあい体験学習については、来年度も引き続き協力していきたい ・見守り活動は、今後も引き続き継続していきたい
6 地域の行事への積極的参加の呼びかけ、文化の伝承  11 生活環境の整備	土気地区部会や町内会・自治会等の諸活動への協力を行う  地域環境の改善 学校区内の危険個所の特定、通学路の整備を促進する	・23連協、スポーツ振興会、土気地区部会共催で実施している昭和の森ウオークラリーの協力を行う  お天気次第で開催が変わるので大変である 開催されるのがありがたい	○	・昭和の森ウオークラリー（11/23） 大声大会担当	・昭和の森ウオークラリーは、スタッフとして、また協力していく

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
18 地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議への参加 あんしんケアセンター主催の地域 ケア会議「見守りネットワーク土気 会議」に参加している	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域ケア会議に参加し地域の情報共有や共有事項の守秘の厳守と課題解決に向けて話し合いの場に参加する。</li><li>・推進、連携を強めていく</li><li>・7050問題は、すでに前に進んでいく母子の様子がうかがえる。相談して良かったと思っています。</li></ul>	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・月1回の「見守りネットワーク会議」に参加し、地域の関係機関と連携し情報共有</li></ul> <p>とてもありがたいことと思う</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後も継続参加し、地域の為に情報交換し、共有し合いながら福祉関係の点で力を注ぎたい</li><li>・地域の足の問題等の声に応えるためにも利用の推進と啓蒙を継続していきたい</li><li>・高齢者が元気と健康で生活できる社会参加にこれからも力を注ぎたい</li><li>・参加者を少し募集していこうと計画している</li></ul>

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 第505地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
14 身近な防犯、安全対策	空地・空き家の解消 空地・空き家のままにしておくこと の危険性・デメリット等の周知を図 る	空地・空き家問題についての啓発活 動、勉強会を行う計画であったが実現 できなかった	×	町内自治会等での計画立案・実施に関 与・協力	死去・施設入居等により今後ますます 空地・空き家が増加していく 問題の重大さの周知が必要
16 見守り活動の推進 （重点取組項目）	地区の見守り活動団体との連携 はなみずき台「おおかぶ会」 大椎台団地「助け合いの会」 大木戸台団地「シニア支援の会」	積極的・継続医的に協力できた  独居中の後期高齢者へのクリスマス カードの配布  社協土気地区部会の広報紙や町内自 治会での広報活動を利用しての民生委 員の存在のアピール	○  ○  ○	各活動団体への民生委員の積極的参 加・関与  継続実施  これまで通りのペースで堅実に継続	高齢化率の急上昇への対応  高齢者が増加する一方で、カードの作 り手である中学生は減少  次代の担い手の育成
18 地域の課題解決に向け た連携 （重点取組項目）	地区内の町内自治会との関係の緊密 化  地域ケア会議への参加・協力 見守りネットワーク土気会議への 参加	町内自治会長会議への参加は日程の 部分で途中から出来なくなった 越智連協設立への協力  毎回参加し、その内容を地区定例会 で周知	△  ○	新たな協力のあり方を確立する  確実に継続実施	比較的永年継続の民生委員と頻繁に交 代する町内自治会長との認識のズレが生 じやすい点を如何に埋めていくか



## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 第５０９地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。／○：概ね目標を達成した。（５～１０割）／△：一部目標を達成した。（１～４割）／×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と 取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って	Ｒ６年度 達成状況 ※◎／○／△／×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
１ 情報の収集と共有化	分野別の行政サービスの提供（新規）	・発行部数 １２０００部の社協土気地区部会の広報誌「ふくし」に年２回（６５号と６６号）、土気地区４民児協の活動記事を掲載した。 ① ６５号では、高齢者実態調査結果を住民に判り易くグラフ化等を行い掲載した。 ② 行政の新しい相談機関の紹介記事掲載。	◎	・Ｒ６年度同様に年２回（各 １２０００部）の社協広報誌への記事寄稿を継続する。 ・住民に有益な情報が何か、どのように提供するのがベストか検討していく。	・多数の専門機関が発行している行政サービスを住民の身近に届くように、町内自治会の回覧板での提供の検討。
３ 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供（新規）	・具多的な活動はできなかった。	×	・地元デビューしていない高齢男性の居場所作りの検討 ・他地区での実績の勉強	・地域デビューを経験せず、定年退職した男性を活動の場に引き出す方法の検討
１２ 防災訓練の充実・意識啓発、体制整備（重点取組項目）	避難行動要支援者へのサポーター作り（新規）	・掲載されている対象者数が５００名と非常に多く優先すべき対象者の絞り込を行うことが必要と判断し、優先順位付けを行っている。	△	・「支え合いカード」の作成してくれる住民の発掘し、徐々に増やすこと ・町内自治会が抱える悩みなどの把握。	・行政機関、町内自治会との打ち合わせを通じ、有効活用できるようにしていくこと。 ・避難所運営委員として活動する委員が名簿を有効活用できるようにすること。 ・関係機関の意見の聴取と見直し
	民生委員自身の意識高揚 住民への啓蒙活動	・定例会等で討議の継続を行い、将来の実践に備えた。 ・一人の住民として委員も、取組の重要性の勉強	△	・継続した委員への啓蒙活動の実施	・名簿に掲載している住民への啓蒙チラシなどを普段の活動時に配布し説明していくこと。 ・名簿に掲載されている住民の希望把握

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と 取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
14 身近な防犯、安全対策	<p>地域内小・中学校との情報交換及び昔遊びの指導協力</p> <p>児童の健全育成のためには、学校との連携を図り適切に対応する必要がある。 このため、学校との情報交換や昔遊びの指導を通し連携を密にする。</p>	<p>【情報交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会に小中学校校長を招き、1回実施</li> <li>・お互い熱心な討議が出来、その後の相談対応への協力を行った。</li> </ul> <p>【昔遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他団体の協力も受け実施 (他団体から6名の協力を受け、1年生約120名を対象に実施)</li> </ul>	◎	<p>【情報交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側と調整し実施の予定</li> </ul> <p>【昔遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側の希望日で実施する予定</li> </ul>	<p>【情報交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「要対協」で報告される被虐待児童・乳幼児が増加傾向にあり、対応方法の検討</li> </ul> <p>【昔遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童たちの身近に居る祖父母の積極的協力を得て継続的に協力頂ける指導者確保</li> </ul>
16 見守り活動の推進 (重点取組項目)	<p>地区の見守り活動団体との連携</p> <p>地域で行われている見守り活動団体と連携し、地域での見守り活動への協力を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あすみが丘第一自治会の「見守り隊活動会議」に担当民生委員が会議に参加し、情報提供やアドバイス等を行う一方、見守り対象者登録を行っていない「気になる高齢者」への対象者登録の呼び掛けを行っている。 (会議参加者は、約10名)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者化の進展が著しい地区でもあり、見守り対象者への新規登録の勧誘活動を継続して実施していく。</li> <li>・核家族化が進む中、遠隔地に居住する独居者家族への対応方法のアドバイス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の正式認定を受けていない為、見守り隊への理解が低く、隊員の士気維持の手助けの検討</li> <li>・遠隔地に住む家族が地元への過度な依頼心への対応方法の検討が必要</li> </ul>
	<p>出産を控えた母親、新生児を持つ親との関係作り(将来の虐待の予防 新規)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常にデリケートなテーマ内容で、慎重な検討が必要な為、当分の間、棚上げとした。</li> </ul>	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の間、棚上げとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で悩ませない体制作りが目標だが構築は非常に高いハードルがある。</li> <li>・手伝って頂けるボランティア団体探しも必要</li> </ul>
18 地域の課題解決に向けた連携 (重点取組項目)	<p>地域ケア会議への参加</p> <p>地域ケア会議(見守りネットワーク土気会議)に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルス拡大下では、休会もあったが積極的に意見交換やアドバイスを述べた。</li> <li>・関係専門機関と連携強化を図り、課題対応の活動に積極的対応を行った。</li> <li>・ケアマネ研修会の講師も務めた。 (避難行動要支援者について)</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に有意義な会議であり、継続参画していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者数の増加に伴い、寄り添いの連携強化。</li> <li>・気になる高齢者対応の為、更なる活発な情報交換を行う為の方策検討</li> </ul>

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 第５１０地区民生委員児童委員協議会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。／○：概ね目標を達成した。（５～１０割）／△：一部目標を達成した。（１～４割）／×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎／○／△／×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
１ 情報の収集と共有化	民児協活動のＰＲ	社協情報誌に民児協活動を掲載し、情報の共有化を図っている。  年８回の社協委員会を開催し、年２回の広報誌を発行した。	○	今年度も引き続き、社協情報誌に民児協活動を掲載し、地域への浸透を図っていく。	高齢者世帯のみに限らず、全世帯への関心を高める政策を図る必要がある。
１２ 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備 （重点取組項目）	災害時の対応	独居高齢者に対して、災害時の非常食として配布を図る取組でしたが、不実施でした。	×	災害時の対応として、避難場所の確認をもれなく行いたい。	高齢者が自力で避難場所まで行けるか不安がある。
１６ 見守り活動の推進 （重点取組項目）	独居高齢者への見守り	独居高齢者のみでなく、希望する高齢者にも名刺型 ＰＲ カードの配布を行った。	○	独居高齢者への見守りは、実態調査時に聞き取り対応を考える。	独居高齢者が、自宅内で倒れた時に連絡の方法に不安がある。
１８ 地域の課題解決に向けた連携 （重点取組項目）	高齢者への声かけ	高齢者に対して、いきいきセンターやあんしんケアセンターへの紹介をした。	○	高齢者実態調査で、不安が残る高齢者には定期的に見守りをする。	定期的に声かけをしていく。

## 緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和６年度）及び計画（令和７年度）等調査票

団体名 千葉市あんしんケアセンター土気

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（５～１０割）/ △：一部目標を達成した。（１～４割）/ ×：全く達成できなかった。（～１割）

取組項目 ※第５期計画の ２０の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	Ｒ６年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	Ｒ６年度 達成状況 ※◎/○/△/×	Ｒ７年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
１８地域の課題解決に向けた連携	・地域の関係団体・機関が連携し、地域課題の共有と課題解決に向けて話し合う場として、地域ケア会議（見守りネットワーク土気会議）を開催する。	・毎月１度、土気駅前郵便局２階会議室で民生委員、社協地区部会、連協、いきいきプラザ・センター、生活自立仕事相談センター緑、緑区障害者基幹相談センター、高齢障害支援課等関係機関担当者間で地域課題について共有、検討する会議を開催した。令和６年度は１０回会議を実施し、毎回１５～２０名程度参加。 （振り返り（感想）） ・個別の相談事例の蓄積による高齢者の生活課題、地域課題について、行政の関係機関（動物保護指導センター、千葉市消防局等の担当者から事業説明を受け共有する等有意義な会議となっている。	○	・令和７年度も毎月第一月曜日開催を予定している。参加人数も令和６年度と同程度の人数を予定している。	・地域課題の共有の場にはなっているが、課題の解決までに繋がっていない。地域課題解決に繋がるよう取り組む。
１８地域の課題解決に向けた連携	・フレイル状態の高齢者のニーズに合ったインフォーマル資源について、事例を用いて検討する「インフォーマルケア会議（地域ケア会議）」を開催する。	・計１０回インフォーマルケア会議を実施した。 土気駅前郵便局とオンラインでのハイブリッド型や緑保健福祉センターでの参集型で会議を実施した。さまざまな職種や行政機関、地域の活動団体関係者に参加いただき、個別事例を用い、対象者が社会参加につながる地域資源について意見交換を行った。毎回２０名程度参加。 （振り返り（感想）） ・事例を積み重ねることによって、対象者の属性によって必要な地域資源や、土気地域に在住するフレイル高齢者の地域課題について把握することができている。	○	・令和７年度は偶数月に１度の開催を予定している。６・１０・１２月はオンライン、８・２月は参集型で行う。人数は１５～２５名を予定している。	・会議内であがった地域資源のアイデアが、対象者にフィードバックできるようにしていきたい。

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
19 自宅療養中の家族が いる家庭への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを行う。</li><li>・ 小・中学生や地域住民、企業を対象にした認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する知識・理解を地域に広める。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和6年9月30日 大椎小学校3年生を対象に講座を実施した。(19名受講)</li><li>・ 令和6年12月5日 越智中学校1年生を対象に講座を実施した。(36名受講) (振り返り(感想))</li><li>・ 認知症を知らない生徒も多く、アンケートの内容を見ると困っている高齢者がいたらやさしく声を掛けてあげたい」という記載が多く、高齢者との関わりのきっかけにもなるのではないかと思う。</li></ul>	○	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和6年度と同様に越智中学校、大椎小学校での実施を計画している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域によって物理的環境も違うため、開催先の団体と話し合いながら具体的に内容を検討していく必要がある。</li></ul>
		(振り返り(感想))			

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 社会福祉法人くちなし

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流	ア 中学校への福祉教育  イ 中学校のキャリア支援教育への参加（緑区外含む）	ア 未実施  イ 10/29 有吉中学校（57名） 11/5 末広中学校（1回目：21名） 11/13 川戸中学校（5名） 11/20 おゆみ野南中学校（25名） 11/29 末広中学校（2回目：9名）  （振り返り（感想）） アに関しては、施設の感染対策上、まだ学校への施設利用者の派遣は難しいと判断して未実施となった	△	ア セルフ・ガーデンハウス利用者と中学生徒が交流する福祉教育を再開したい  イ 地域新聞社との連携事業で、希望する学校との日程が合えば参加していく 緑区内の学校からの希望があれば積極的に参加する	ア 課題としては、施設の感染対策の緩和と、中学校とのパイプ作りをまた1から始めること。 以前実施していた状況を知っている先生が中学校にいなくなってしまった。
4 障害者（児）・その家族が集う場の開設・拡充・情報提供	ア 近隣地域との交流による障害者への理解の促進  イ 障害を持つ人達が当たり前前に街にいる風景の促進	ア 12月10日（火） セルフ・ガーデンハウスにて普通救命講習会と施設見学会を開催。 参加者20名  イ あすみが丘ブランニューモールでの買い物を27回・延べ55名で実施  （振り返り（感想）） どちらの取組みも目標通りに実施できた。施設見学では障害福祉への啓発を行い、関心を広めることができた。	◎	ア 秋期に近隣地域の緑の森工業団地内の企業に働きに来ている人達を対象に普通救命講習会を開催。講習会後に施設見学と福祉講和を行う 目標：参加者20名  イ あすみが丘ブランニューモールへ外出し、買い物・お茶等 年間：約25回・約50名以上	
12 防災訓練の充実、意識啓発、体制整備	ア ふれあい福祉フェスティバルの開催  イ 緑区ふるさとまつりでの福祉啓発活動	ア 10月19日（土）・20日（日） 土気駅前パーズモール広場にて開催 参加者・来場者 延べ約1,000人  イ 11月3日（日） 緑区ふるさとまつりにてポッチャ体験 と福祉車両展示コーナーを実施 来場者 延べ約250人  （振り返り（感想）） どちらの取組みも目標通りに実施でき、一般市民への福祉啓発を行うことができた。	○	ア 10月25日（土）・26日（日）に開催予定 土気地域14の福祉団体で実行委員会を構成し、ステージイベントには一般市民の団体も参加する 参加者・来場者で約1,000人を見込んでいる  イ 緑区ふるさとまつりにて、福祉啓発ブースとしてパラスポーツ体験（ポッチャ等）コーナーを設置 目標：来場者300人程度	

緑区支え合いのまち推進計画の取組状況（令和6年度）及び計画（令和7年度）等調査票

団体名 千葉市精神障害者南地域家族会

※【達成状況の目安】◎：目標を上回った。/ ○：概ね目標を達成した。（5～10割）/ △：一部目標を達成した。（1～4割）/ ×：全く達成できなかった。（～1割）

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等） 活動を振り返って（感想）	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 （いつ、どこで、何を、回数、人数 等）	今後の課題と方針
4. 障害者（児）、その家族が集う場の開設・拡充、 情報提供	ア 例会	会長人事の更新はなかなか困難で、まずは若年層を入れた新しい執行部で、活動場所・日時を固定して連絡・調整は電話等で簡素化した方法で行った。  （振り返り（感想）） 10名前後の出席者があり、成果があった。 ・5月25日（土）総会 緑保健福祉センター ・7月20日（土）研修会；グループホームについて ・10月19日（土）当事者との話し合い ・12月21日（土）ビデオ研修；なぜ親に当たるの？ ・2月22日（土）研修会；親亡き後の生活	○	例会は緑保健福祉センターで4月、6月、10月、12月、2月の第3土曜日に行う。テーマは ・高齢化した家族の居場所（今後の我が子の居場所を含め） ・現在の社会資源の現状を調査して‘どこまで社会に頼れるか’ ・我が子のリカバリーについて（親の自立も含めて）等から選ぶ。	会長や会計を含めた執行部の役員人事の更新が進んでいない。 →まずは複数の指導体制を取り、徐々にまとめていく方法をトライしてみたい。
	イ. おしゃべり会・相談	場所：緑保健福祉センター ・4月20日（土）9名出席 ・6月15日（土）8名出席 ・9月21日（土）12名出席 ・11月16日（土）9名出席 ・1月18日（土）9名出席 ・3月15日（土）12名出席  （振り返り（感想）） 具体的な深みのある相談等ができた。	○	おしゃべり会・相談は緑保健福祉センターで、7月、9月、11月、1月、3月の各第3土曜日に行う。	
	ウ. 会報「千南会」の発行	第25号の発行 12月15日（1回）  （振り返り（感想）） 充実した内容であった	○	会報「千南会」を1回/年 発行する。（自資金で）	

取組項目 ※第5期計画の 20の具体的な取組番号と取組名	取組の概要	R6年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等) 活動を振り返って(感想)	R6年度 達成状況 ※◎/○/△/×	R7年度目標または予定 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題と方針
	エ. 拡大例会講演会は実施しない	(振り返り(感想)) 計画通り実施しない		拡大例会講演会は実施しない。	千葉県障害者福祉団体補助金の申請は書類の作成が若い人たちには困難なため、ウの増刊、エの資金が出ないためしばらく実施しない